基本操作ガイド

PIXUS Pro9500 Mark II

使用説明書

写真や文書の印刷

DVD/CDの印刷

そのほかの使いかた

用紙セットのしかた

お手入れ

困ったときには など

1 かんたんスタートガイド

2 **基本操作ガイド（本書）**

活用ガイド（電子マニュアル）

ご使用の前に必ずこの使用説明書をお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

付属のマニュアルについて

かんたんスタートガイド

設置から使えるようになるまでの準備を説明しています。
はじめにお読みください。

基本操作ガイド（本書）

本製品の基本的な機能・操作を説明しています。

WindowsやMacintoshのアプリケーションソフトから印刷する際の基本操作のほかに、インクタンクの交換方法、トラブルへの対処などを知りたいときにもお読みください。

活用ガイド（電子マニュアル）

進んだ機能の使いかたを説明した、パソコンの画面で見るマニュアルです。本製品をさらに使いこなすためにお読みください。
フォトデータを写真に仕上げるために必要な基礎知識や設定のポイントを確認する場合は、活用ガイド内の『デジタルフォト印刷ガイド』をお読みください。

⇒「『活用ガイド』（電子マニュアル）について」（P.39）

本製品でできること

PictBridge対応機器から印刷する

PictBridge対応機器から印刷

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）

目次

付録 115

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際エネルギースタープログラムについて
当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

Exif Printについて
本製品は、「Exif Print」に対応しています。
Exif Printは、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

記載について
本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
重　要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。
参　考	操作の参考になることや補足説明が書かれています。
Windows	Windows独自の操作について記載しています。
Macintosh	Macintosh独自の操作について記載しています。

本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降、Windows Vista）またはMac OS X v.10.5.xをご使用の場合に表示される画面で説明しています。
ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

商標について
- Microsoftは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMacは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe RGBおよびAdobe RGB（1998）は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Photo Ragは、Hahnemühle FineArt GmbHの商標です。
- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。

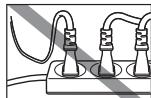
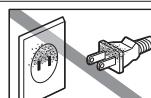
お客様へのお願い
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。
  連絡先は、別紙の『サポートガイド』に記載しています。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要になったときは、回収・リサイクルに出してください。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

⚠安全にお使いいただくために

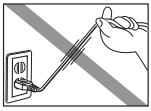
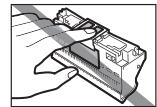
安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- ここには、取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ず以下の警告事項をお守りください。

設置場所について	アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。
電源について	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
	電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
	電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。
	ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線をしないでください。
	電源コードを束ねたり、結んだりして使わないでください。
	万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
	電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因となります。
	近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。火災・感電・故障の原因になります。
	本製品に付属されている電源コードをご使用ください。 なお、本製品の動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。 電源電圧：AC 100V　電源周波数：50/60 Hz
お手入れについて	清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。 本製品内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。
	清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 清掃中に誤って本製品の電源が入ると、けがや本製品の損傷の原因となることがあります。
取扱いについて	本製品を分解、改造しないでください。 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
	本製品のカメラ接続部、ケーブル接続部などには、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になります。
	本製品の近くでは、可燃性の高いスプレーなどは使用しないでください。 スプレーのガスが内部の電気部品に触れて、火災や感電の原因になります。

⚠注意

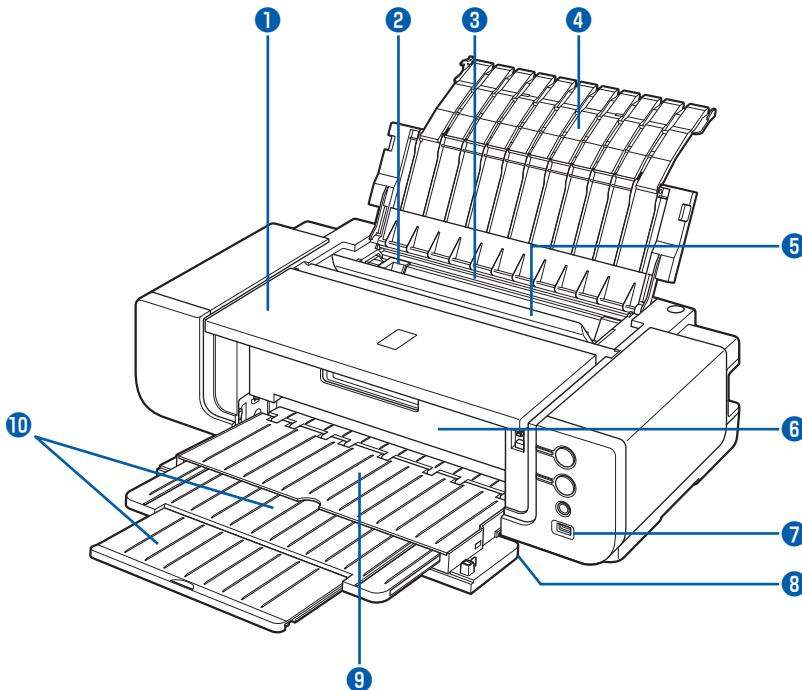
- ここには、取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ず以下の注意事項をお守りください。

設置場所について	不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。
	湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。 次の使用環境でお使いください。温度：5℃～ 35℃　湿度：10% RH ～ 90% RH
	毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。 毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因となることがあります。
	本製品背面を壁につけて置かないでください。
電源について	電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
	延長電源コードは使用しないでください。
	いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
	万一の感電を防止するために、コンピュータのアース接続をお勧めします。
取扱いについて	印刷中は本製品の中に手を入れないでください。 内部で部品が動いているため、けがの原因となることがあります。
	本製品を運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。
	本製品の上にものを置かないでください。
	本製品の上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
	万一、異物（金属片や液体など）が本製品内部に入った場合は、電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
	本製品を使用／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。

プリントヘッド／インクタンクについて	お子様の手の届かないところに保管してください。誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ１、２杯の水を飲ませてください。 万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
	インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
	印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。 熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。
	インクタンクを火中に投じないでください。
	プリントヘッドやインクタンクを分解したり、改造したりしないでください。

- 蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意
  蛍光灯などの電気製品と本製品は約15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因で本製品が誤動作することがあります。
- 電源プラグを抜くときのご注意
  電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源ボタンを押して電源ランプ（青色）が消灯していることを確認してください。電源ランプが点灯・点滅しているときに電源プラグを抜くと、プリントヘッドを保護できずその後印刷できなくなることがあります。

本製品について

ここでは、製品の各部名称とその機能について説明しています。

各部の名称と役割

前面

1 トップカバー
インクタンクを交換するときや紙づまりのときに開きます。

2 用紙ガイド
動かして用紙の左端に合わせます。

3 後（うしろ）トレイ
本製品で使用できるさまざまなサイズ、種類の用紙をセットできます。一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に１枚ずつ給紙されます。
⇒P.44、P.50

4 用紙サポート
後トレイに用紙をセットするときに開きます。

5 給紙口カバー
給紙口に物が落ちるのを防ぎます。
用紙ガイドを動かすときは開き、印刷する前に閉じてください。

6 CD-R トレイガイド
CD-R トレイをセットします。DVD/CD に印刷するときだけ手前に開いて使用します。通常は閉じておきます。

7 カメラ接続部
デジタルカメラなどのPictBridge対応機器から直接印刷するときに、ここに接続します。⇒P.38

⚠警告

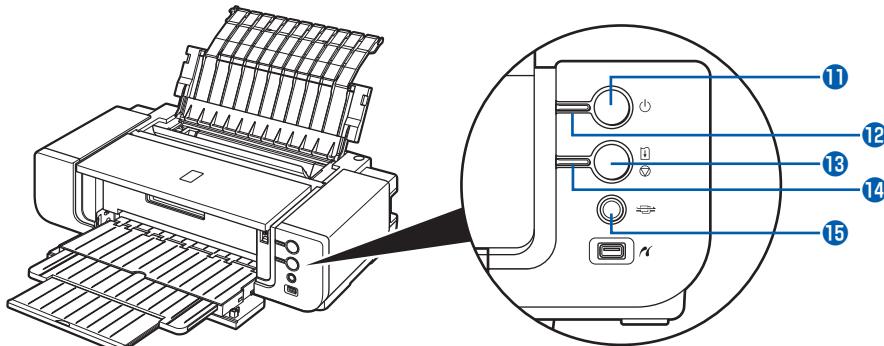
- 本製品のカメラ接続部にはPictBridge対応機器以外は接続しないでください。火災や感電、本製品の損傷の原因となる場合があります。

重　要

- 金属部分に触れないでください。

8 CD-R トレイ収納部
（本製品底面にあります）
付属のCD-R トレイを収納できます。

9 前トレイ
印刷された用紙が排出されます。印刷する前に開いてください。
また、半切などの大きなサイズの用紙や厚紙に印刷する場合は、こちらに用紙をセットします。
⇒P.46、P.50

10 補助トレイ
用紙を支えるため、手前に引き出します。
印刷するときは引き出してください。

⓫ 電源ボタン

電源を入れる／切るときに押します。

重　要

電源プラグを抜くときは

- 電源を切ったあと、必ず電源ランプが消灯していることを確認してから電源プラグを抜いてください。電源ランプが点灯／点滅しているときに電源プラグを抜くと、プリントヘッドが保護されないため、その後正しく印刷できなくなることがあります。

参　考

- 電源をオンしたときに、インクの品質を保持するために、インクをかき混ぜる動作が開始される場合があります（約10秒～3分）。
  詳しくは「いつもきれいな印刷を楽しむためには？」（P.127）を参照してください。

自動電源オフ機能について

- 一定時間、印刷データが送られないときに本製品の電源を自動的に切ることができます。
  設定は、プリンタドライバの［ユーティリティ］シート（Windows）またはCanon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）（Macintosh）で行います。設定方法は、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

⓬ 電源ランプ

電源を入れると、青色に点滅後、点灯します。

⓭ リセットボタン

印刷を中止するときなどに押します。本製品のトラブルを解除してからこのボタンを押すと、エラーが解除されて印刷できるようになります。

⓮ エラーランプ

用紙やインクがなくなったときなど、エラーが発生したときにオレンジ色に点灯または点滅します。

参　考

電源ランプ／エラーランプの表示について

電源ランプ／エラーランプの表示により、本製品の状態を確認できます。

- 電源ランプが消灯：電源がオフです。
- 電源ランプが青色に点灯：印刷が可能です。
- 電源ランプが青色に点滅：準備動作中、または印刷中です。
- エラーランプがオレンジ色に点滅：エラーが発生し、印刷できません。⇒P.79
- 電源ランプ（青色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に１回ずつ点滅：サービスを必要とするエラーが起きている可能性があります。⇒P.84

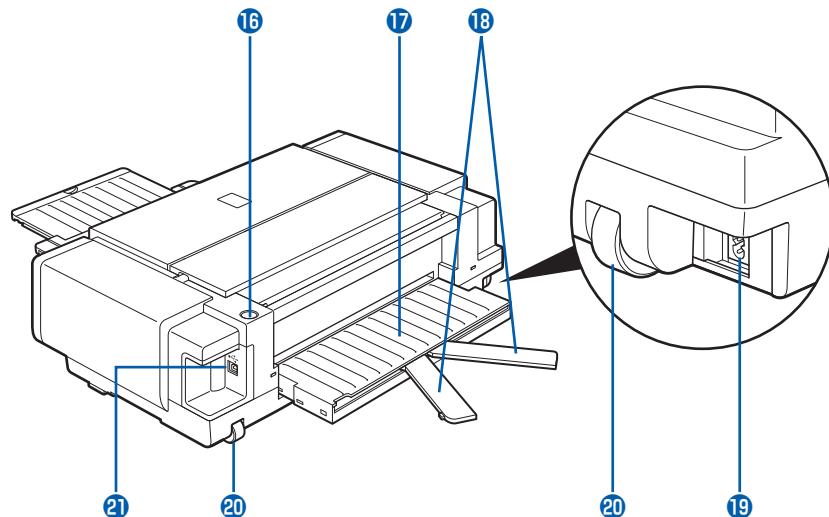
⓯ フロント給紙ボタン

前トレイから給紙するときに押します。フロント給紙ボタンの点灯／点滅により、前トレイからの給紙の状態を確認できます。⇒P.46

参　考

フロント給紙ボタンの表示について

- **はやく点滅**（2回ずつ短く点灯）：前トレイに用紙をセットする準備が完了しました。前トレイに用紙を正しくセットしてください。
- **ゆっくり点滅**（1回ずつ長く点灯）：前トレイから給紙する準備が完了しました。印刷を開始してください。
- **消灯**：後トレイから給紙できます。
- **点灯**：前トレイから給紙できます。

背面

⑯ **フロントトレイ給紙サポートボタン**

フロント給紙サポートを開くときに押します。

⑰ **フロント給紙サポート**

前トレイから給紙するときに開きます。

⑱ **V字サポート**

前トレイから給紙するときに、A4より大きな用紙を支えるために開きます。

⑲ **電源コード接続部**

付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

⑳ **車輪**

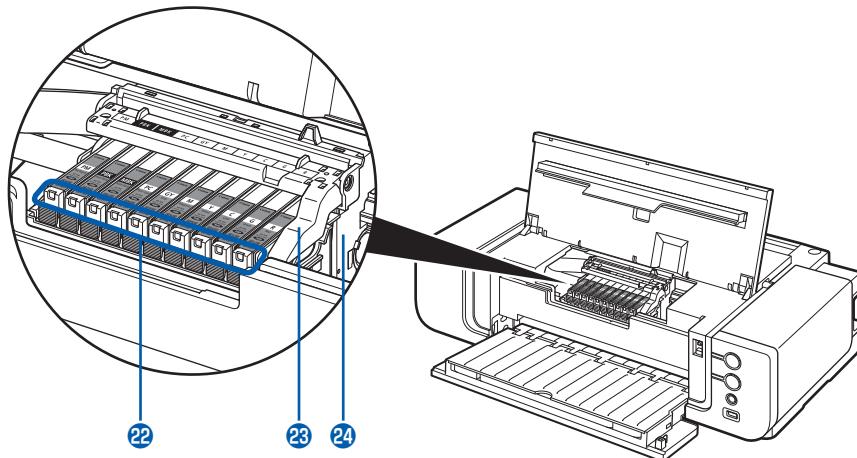
本製品を移動させるときに使用します。本製品の手前を持ち上げると、かんたんに前後に移動させることができます。

㉑ **USBケーブル接続部**

USBケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

重　要

- 金属部分に触れないでください。
- 印刷しているときに、USBケーブルを抜き差ししないでください。

内部

㉒ インクランプ
赤色に点灯／点滅し、インクタンクの状態を知らせます。
⇒「インクの状態を確認する」（P.60）

㉓ プリントヘッド固定レバー
プリントヘッドを固定します。

重　要

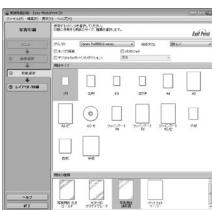
- プリントヘッドを取り付けたら、このレバーを上げないでください。

㉔ プリントヘッドホルダ
プリントヘッドを取り付けます。

参　考

- プリントヘッドとインクタンクの取り付け方法は、『かんたんスタートガイド』を参照してください。

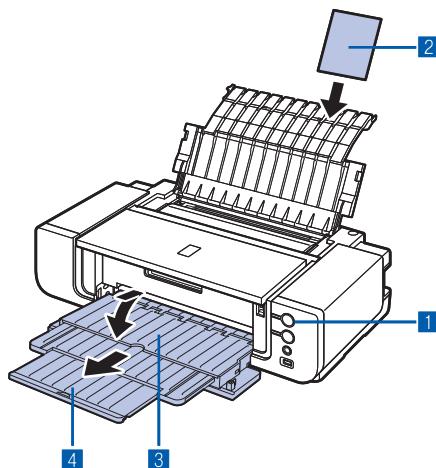
写真や文書の印刷

ここでは、写真や文書などを印刷する方法について説明しています。
付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと、デジタルカメラで撮った写真をかんたんな操作で印刷することができます。
また、色や画質の再現にこだわった写真編集や印刷を実現する付属のプラグインソフトEasy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）についても紹介しています。

写真を印刷する（Easy-PhotoPrint EXを使う）

付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使って、パソコンに保存されている画像データを印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、画像をフチなしで印刷する方法について説明します。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- Windowsの画面を例に説明していますが、Macintoshでも操作方法は同じです。
- Easy-PhotoPrint EXをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Easy-PhotoPrint EX］を選んでインストールします。

1 印刷の準備をする

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.9

2 用紙をセットする⇒P.44

ここでは、L判サイズの写真用紙を後トレイにセットします。

3 前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開く

4 補助トレイを引き出す

参　考

- 前トレイに用紙をセットする場合は、「前トレイに用紙をセットする」を参照してください。⇒P.46
- L判サイズの写真用紙は前トレイから給紙することはできません。

2 Easy-PhotoPrint EXを起動し、[写真印刷]を選ぶ

1 Easy-PhotoPrint EXを起動する

Windows

デスクトップのアイコン をダブルクリックする

Macintosh

［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint EX］の順に選び、［Easy-PhotoPrint EX］をダブルクリックする

参　考

Windows

- Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、デスクトップ上の をダブルクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.40
- ［スタート］メニューから起動するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint EX］→［Easy-PhotoPrint EX］の順に選びます。

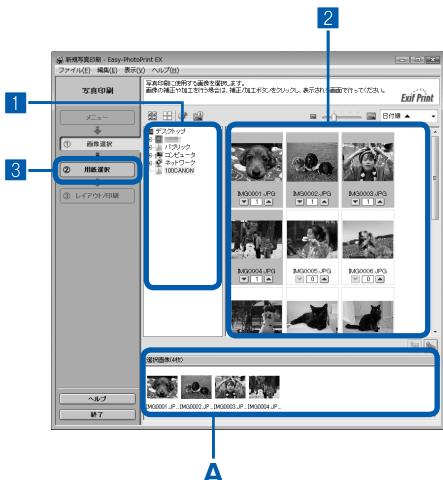
Macintosh

- Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、Dock内にある をクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.40

2 ［写真印刷］をクリックする

参　考

- ［写真印刷］のほかにも、「アルバム」や「カレンダー」、「シール」などの印刷もできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EXの機能を使う」（P.17）

3 印刷する写真を選ぶ

1 画像が保存されているフォルダを選ぶ

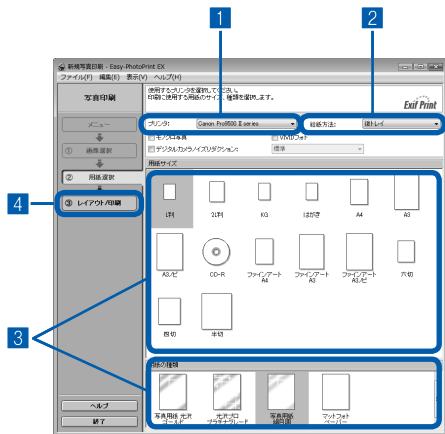
2 印刷する画像をクリックする

枚数が［1］と表示され、［選択画像］エリア（A）に選んだ画像が表示されます。複数の画像を同時に選ぶことができます。

参　考

- 同じ画像を2枚以上印刷したい場合は、▲ボタンをクリックして枚数を変更します。
- 選んだ画像を取り消すには、［選択画像］エリアで取り消したい画像をクリックしてから ボタンをクリックします。▼ボタンで枚数を［0］にしても取り消すことができます。
- 選んだ画像の補正や加工を行うこともできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EXの機能を使う」（P.17）

3 ［用紙選択］をクリックする

写真や文書の印刷

4 用紙を選ぶ

1 ［プリンタ］にご使用の製品名が表示されていることを確認する

2 ［給紙方法］で［後トレイ］を選ぶ

参 考

• 前トレイから給紙する場合は、［給紙方法］で［前トレイ］を選びます。

3 ［用紙サイズ］と［用紙の種類］で、印刷したい用紙を選ぶ

ここでは、［用紙サイズ］で［L判］、［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選びます。

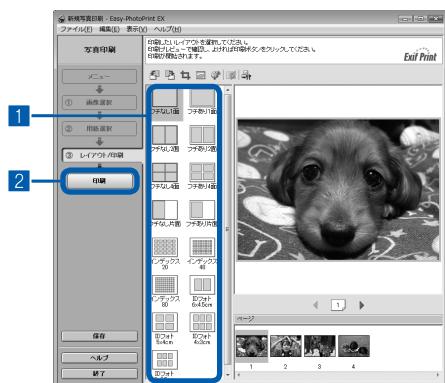
参 考

• 用紙の種類を間違えると、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

4 ［レイアウト/印刷］をクリックする

参 考

• モノクロで写真を印刷する場合は、［モノクロ写真］を選びます。

5 レイアウトを選び、印刷する

1 写真のレイアウトを選ぶ

ここでは［フチなし１面］を選びます。
選んだレイアウトでプレビューが表示され、印刷結果が確認できます。

参 考

• 写真の向きを変更したり、一部分だけを切り抜いて（トリミング）印刷したりすることができます。操作方法については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

2 ［印刷］をクリックする

参 考

• モノクロ印刷をする場合は、［フチあり１面（余白45mm）］を選ぶことをお勧めします。
ただし、用紙サイズでA4より小さい用紙やCD-Rを指定したときには、選択できません。

Windows

• 印刷中に本製品のリセットボタンを押すか、プリンタ状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。
プリンタ状態の確認画面は、タスクバー上の［Canon（ご使用の製品名）］をクリックして表示します。

Macintosh

• Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
• 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］（または［ジョブを停止］）をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。

Easy-PhotoPrint EXの機能を使う

Easy-PhotoPrint EXで使える便利な機能の一部を紹介しています。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなオリジナルアイテムを作成する

撮った写真を活用してアルバムやカレンダーなどを作成することができます。

［アルバム］

［DVD/CDレーベル］

［カレンダー］

［シール］

［レイアウト印刷］

画像を補正する

画像に対して自動または手動で、赤目補正や顔くっきり補正、美肌加工、明るさ、コントラストなどの調整や補正／加工を行うことができます。

［明るさ］

Easy-PhotoPrint Proの機能を使う

Easy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）は、Adobe Photoshopやキヤノン製デジタルカメラ用RAW現像アプリケーションソフトDigital Photo Professional（対象機種はキヤノンのホームページをご覧ください）から起動し、フチなし全面印刷やインデックス印刷、モノクロ印刷、Adobe RGBに対応した印刷など、さまざまな写真印刷をよりかんたんにするためのプラグインソフトです。
詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参 考

- Easy-PhotoPrint Proは、Adobe Photoshop CS4、CS3、CS2、CS/Photoshop Elements 6、7*、8、Digital Photo Professional Ver.2.1以上にのみ対応しています。
  *Windowsのみ対応
  最新情報はキヤノンピクサスホームページ（canon.jp/pixus）をご覧ください。

いろいろなレイアウトで印刷

用紙の種類やサイズに応じて、いろいろなレイアウトが選べます。

フチあり１面印刷

インデックス印刷

Adobe RGBに対応したカラーマネージメント機能

アプリケーションで編集レタッチした結果を、指定したICCプロファイルに従って印刷できます。⇒P.129

サンプルを見ながら色補正

カラーバランスで、シアン/マゼンタ/イエローなど、色ごとに、強弱が設定できます。⇒P.129

モノクロ写真でレトロな雰囲気を演出

モノクロ印刷で、冷黒調や温黒調などモノクロの温かみを設定できます。⇒P.129

参 考

環境光補正機能について

- Windows VistaでEasy-PhotoPrint Proをご使用の場合、環境光補正機能を設定することで、鑑賞したり、掲示・展示する場所の照明条件をあらかじめ考慮し、色の見えかたの違いを小さくすることができます。

Easy-PhotoPrint Proを起動する

Digital Photo Professionalから起動する場合

1 Digital Photo Professionalで印刷したい写真を選ぶ

2 ［ファイル］メニューから［プラグイン印刷］→［Easy-PhotoPrint Proで印刷］の順に選ぶ

Easy-PhotoPrint Proが起動し、Digital Photo Professionalで選んだ写真が表示されます。

重　要

- Digital Photo Professionalで写真を１枚も選んでいないと、Easy-PhotoPrint Proを起動することができません。

Adobe Photoshopから起動する場合

1 Adobe Photoshopで印刷したい写真のファイルを開く

2 ［ファイル］メニューから［自動処理］→［Canon Easy-PhotoPrint Pro...］の順に選ぶ

Easy-PhotoPrint Proが起動し、Adobe Photoshopで開いたファイルの写真が表示されます。

重　要

- Adobe Photoshopで写真を１枚も表示していないと、Easy-PhotoPrint Proを起動することができません。
- Easy-PhotoPrint Proをインストールしても、Adobe PhotoshopのメニューにEasy-PhotoPrint Proが表示されない場合は、以下の手順でPhotoshopプラグインをインストールしてください。

  Windows

  1. Adobe Photoshopが終了していることを確認する
  2. ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint Pro］→［Photoshopプラグインインストーラー］の順に選ぶ
  3. ［ユーザーアカウント制御］画面で［はい］または［続行］をクリックする
     Windows XPをご使用の場合は、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されませんので、手順４へ進んでください。
  4. メッセージにしたがってインストールする

  Macintosh

  1. Adobe Photoshopが終了していることを確認する
  2. Easy-PhotoPrint Proをインストールしたハードディスクの［アプリケーション］フォルダーを開いて、［Canon Utilities］フォルダー→［Easy-PhotoPrint Pro］フォルダー→［Plug-In Installer］アイコンの順にダブルクリックする
  3. メッセージにしたがってインストールする

  * Adobe Photoshopを一度も起動していない場合、Photoshopプラグインはインストールされません。
- Adobe Photoshopでレイヤー機能を使用した場合、Easy-PhotoPrint Proで写真が表示されないことがあります。
  その場合は、Adobe Photoshopで写真とレイヤーを結合してください。

写真や文書の印刷

文書を印刷する（Windows）

ここでは、A4サイズの書類を普通紙に印刷する方法について説明します。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降、Windows Vista）をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。
- モノクロ印刷をすると、画像によっては用紙の上端部分や下端部分に色むらや白いすじなどが発生する場合があります。この場合は、『セットアップCD-ROM』に付属のEasy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）やご使用のレイアウトソフトを使って、印刷方向に対して、用紙の上端部分、下端部分とも45mm以上の余白を空けて印刷することをお勧めします。
  レイアウトソフトなどを使って印刷する場合は、印刷する画像より長手方向に90mm以上大きい用紙を用意し、印刷方向に対して、用紙の上端部分、下端部分とも45mm以上の余白を空けて印刷してください。
  モノクロ印刷について詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）内の『デジタルフォト印刷ガイド』を参照してください。

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.9

2 用紙をセットする⇒P.44

ここでは、A4サイズの普通紙を後トレイにセットします。

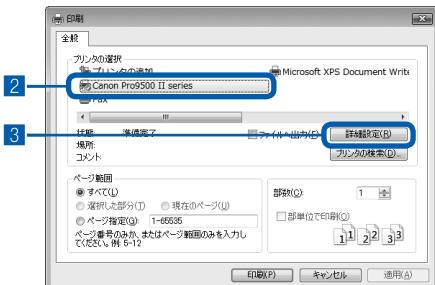
参　考

- 前トレイに用紙をセットする場合は、「前トレイに用紙をセットする」を参照してください。⇒P.46

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 プリンタドライバの設定画面を開く

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューまたはツールバーから［印刷］を選ぶ

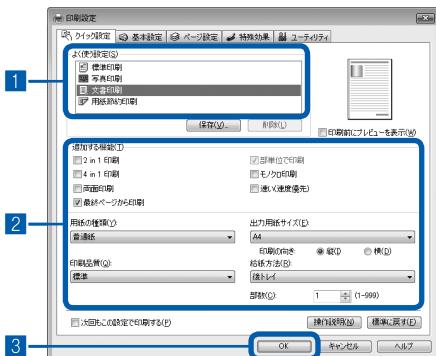
［印刷］ダイアログが表示されます。

2 ご使用の製品名が表示されていることを確認する

参　考

- 別の製品名が選ばれている場合は、ご使用の製品名をクリックしてください。

3 ［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックする

6 印刷に必要な設定をする

1 ［よく使う設定］で［文書印刷］を選ぶ

参考

- ［よく使う設定］で［文書印刷］、［写真印刷］といった印刷目的を選ぶと、選んだ目的により、［追加する機能］の項目に自動的にチェックマークが表示されます。また、印刷目的に適した用紙や品質などの設定が表示されます。
- ［部数］で２部以上の部数を指定すると、［部単位で印刷］にチェックマークが付いて表示されます。

2 表示された設定内容を確認する

ここでは、［用紙の種類］で［普通紙］、［印刷品質］で［標準］、［出力用紙サイズ］で［A4］、［給紙方法］で［後トレイ］が選ばれていることを確認してください。

参考

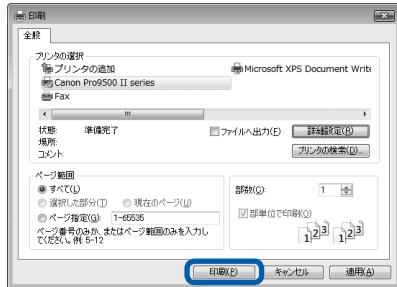
- 設定内容は変更することができます。ただし、［出力用紙サイズ］を変更した場合は、［ページ設定］シートの［用紙サイズ］の設定がアプリケーションソフトの設定と合っていることを確認してください。詳しくは『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 前トレイから給紙する場合は、［給紙方法］で［前トレイ］を選びます。

3 ［OK］ボタンをクリックする

参考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、［ヘルプ］ボタンや［操作説明］ボタンをクリックして、ヘルプや『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。［操作説明］ボタンは、プリンタドライバの［クイック設定］シート、［基本設定］シートおよび［ユーティリティ］シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- 変更した内容に名前を付けて［よく使う設定］に登録することもできます。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- ［次回もこの設定で印刷する］にチェックマークを付けると、次回プリンタドライバの設定画面を開いたときには、現在表示されている内容が表示されます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。
- ［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。
- ［基本設定］シートや［ページ設定］シートでは、詳細な印刷設定をすることができます。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

7 印刷を開始する

［印刷］（または［OK］）ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参 考

- 印刷中に本製品のリセットボタンを押すか、プリンタ状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。
  プリンタ状態の確認画面は、タスクバー上の［Canon（ご使用の製品名）］をクリックして表示します。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.71）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

文書を印刷する（Macintosh）

ここでは、A4サイズの書類を普通紙に印刷する方法について説明します。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。
  詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- モノクロ印刷をすると、画像によっては用紙の上端部分や下端部分に色むらや白いすじなどが発生する場合があります。この場合は、『セットアップCD-ROM』に付属のEasy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）やご使用のレイアウトソフトを使って、印刷方向に対して、用紙の上端部分、下端部分とも45mm以上の余白を空けて印刷することをお勧めします。
  レイアウトソフトなどを使って印刷する場合は、印刷する画像より長手方向に90mm以上大きい用紙を用意し、印刷方向に対して、用紙の上端部分、下端部分とも45mm以上の余白を空けて印刷してください。モノクロ印刷について詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）内の『デジタルフォト印刷ガイド』を参照してください。

Mac OS X v.10.5.xの場合

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.9

2 用紙をセットする⇒P.44

ここでは、A4サイズの普通紙を後トレイにセットします。

参　考

- 前トレイに用紙をセットする場合は、「前トレイに用紙をセットする」を参照してください。⇒P.46

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

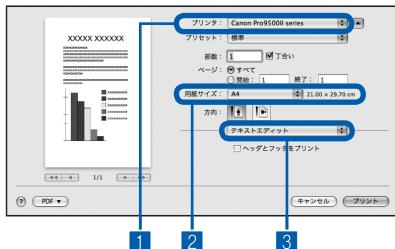
4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 プリントダイアログを開く

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶと、プリントダイアログが表示されます。

参　考

- 以下の画面が表示された場合は、▼ボタンをクリックしてください。

6 印刷に必要な設定をする

1 ［プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

2 ［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選ぶ
ここでは、［A4］を選びます。

3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ

4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ
ここでは、［普通紙］を選びます。

参　考

- 用紙の種類を間違えると、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

5 ［給紙方法］で［後トレイ］を選ぶ

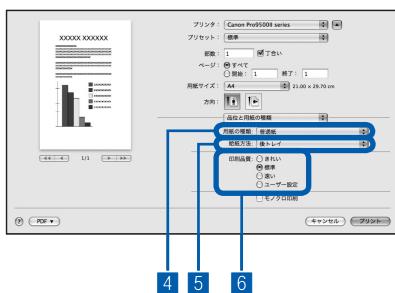
参　考

- 前トレイから給紙する場合は、［給紙方法］で［前トレイ］を選びます。

6 ［印刷品質］で印刷品質を選ぶ
ここでは、［標準］を選びます。

参　考

- 印刷品質については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［フチなし全面印刷］、または［とじしろ］の?ボタンをクリックして、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、?ボタンをクリックしても『活用ガイド』（電子マニュアル）は表示されません。
- 左側に表示されるプレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.71）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

Mac OS X v.10.4.xまたはMac OS X v.10.3.9の場合

参　考

• ここではMac OS X v.10.4.xをご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.9

2 用紙をセットする⇒P.44

ここでは、A4サイズの普通紙を後トレイにセットします。

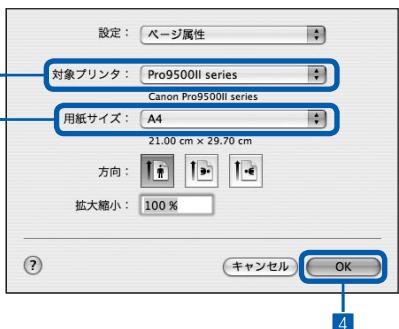
参　考

• 前トレイに用紙をセットする場合は、「前トレイに用紙をセットする」を参照してください。⇒P.46

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

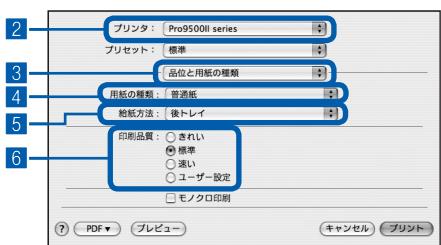
4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 用紙サイズを設定する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ
ページ設定ダイアログが表示されます。

2 ［対象プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

3 ［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選ぶ
ここでは、［A4］を選びます。

4 ［OK］ボタンをクリックする

6 印刷に必要な設定をする

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ
プリントダイアログが表示されます。

2 ［プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ

4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ

ここでは、［普通紙］を選びます。

参　考

- 用紙の種類を間違えると、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

5 ［給紙方法］で［後トレイ］を選ぶ

参　考

- 前トレイから給紙する場合は、［給紙方法］で［前トレイ］を選びます。

6 ［印刷品質］で印刷品質を選ぶ

ここでは、［標準］を選びます。

参　考

- 印刷品質については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［特殊効果］、［フチなし全面印刷］、または［とじしろ］の?ボタンをクリックして、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、?ボタンをクリックしても『活用ガイド』（電子マニュアル）は表示されません。
- ［プレビュー］ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

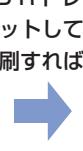
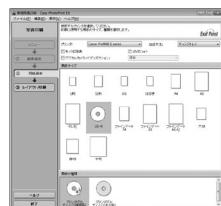
7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［ジョブを停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.71）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

DVD/CDの印刷

付属のCD-Rトレイを使うことで、印刷可能なDVD/CDに写真などを印刷することができます。
ここでは、付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使ってDVD/CDのレーベル面に印刷する方法と、DVD/CDのセット方法を説明します。

DVD/CDに印刷する（Easy-PhotoPrint EXを使う）

付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使って、パソコンに保存されている画像データをDVD/CDのレーベル面に並べて印刷してみましょう。ここでは、［写真印刷］の機能でDVD/CD（プリンタブルディスク）に４枚の写真を並べて印刷する方法について説明します。詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

重　要

- Easy-PhotoPrint EXの［写真印刷］を使用してDVD/CDに印刷する場合は、8cm DVD/CDには印刷できません。

参　考

- Windowsの画面を例に説明していますが、Macintoshでも操作方法は同じです。
- Easy-PhotoPrint EXをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Easy-PhotoPrint EX］を選んでインストールします。
- 不要なDVD/CD（プリンタブルディスク）にお試し印刷することをお勧めします。

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.9

2 Easy-PhotoPrint EXを起動し、［写真印刷］を選ぶ

1 Easy-PhotoPrint EXを起動する

Windows

デスクトップのアイコン をダブルクリックする

Macintosh

［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint EX］の順に選び、［Easy-PhotoPrint EX］をダブルクリックする

参　考

Windows

- Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、デスクトップ上の をダブルクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.40
- ［スタート］メニューから起動するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint EX］→［Easy-PhotoPrint EX］の順に選びます。

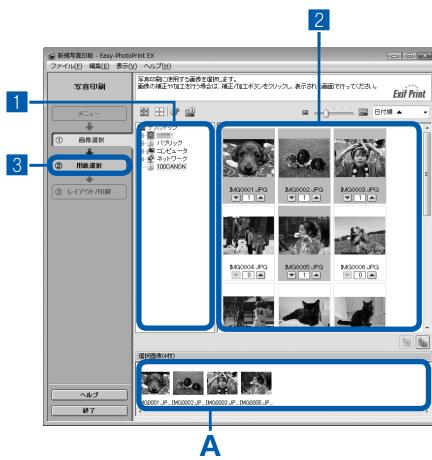
Macintosh

- Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、Dock内にある をクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.40

2 ［写真印刷］をクリックする

参　考

- ［DVD/CDレーベル］を選ぶと、付属のソフトウェア「らくちんCDダイレクトプリント for Canon」が起動し、DVD/CDレーベルへのいろいろな印刷が行えます。
⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）

3 印刷する写真を選ぶ

1 画像が保存されているフォルダを選ぶ

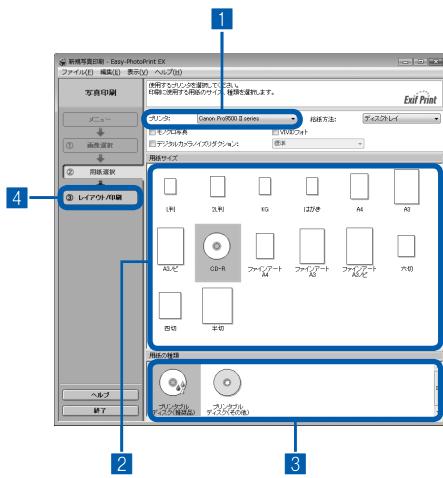
2 印刷する画像をクリックする

枚数が［1］と表示され、［選択画像］エリア（A）に選んだ画像が表示されます。ここでは、4枚の写真を並べるので、4画像を選びます。

参　考

- 選んだ画像を取り消すには、［選択画像］エリアで取り消したい画像をクリックしてから ボタンをクリックします。▼ボタンで枚数を［0］にしても取り消すことができます。
- 選んだ画像の補正や加工を行うこともできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EXの機能を使う」（P.17）

3 ［用紙選択］をクリックする

4 ［CD-R］を選ぶ

1 ［プリンタ］にご使用の製品名が表示されていることを確認する

2 ［用紙サイズ］で［CD-R］を選ぶ

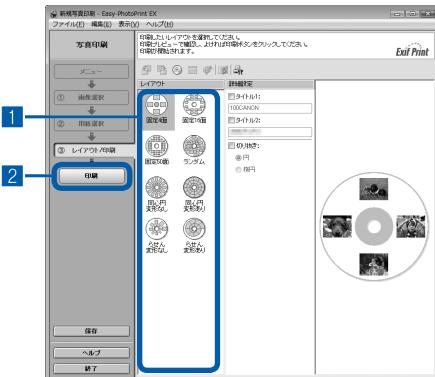
［給紙方法］が［ディスクトレイ］に切り替わります。

3 ［用紙の種類］で［プリンタブルディスク（推奨品）］または［プリンタブルディスク（その他）］を選ぶ

参　考

- 使用するDVD/CD（プリンタブルディスク）が推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［プリンタブルディスク（推奨品）］を指定してください。
推奨品でない場合は、［プリンタブルディスク（その他）］を指定してください。
- 推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。

4 ［レイアウト/印刷］をクリックする

5 レイアウトを選び、印刷する

1 **写真のレイアウトを選ぶ**

ここでは、［固定４面］を選びます。
選んだレイアウトでプレビューが表示され、印刷結果が確認できます。

参　考

- タイトルを付けたり、写真を円形に切り抜いて（トリミング）印刷したりすることができます。操作方法については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

2 **［印刷］をクリックする**

6 DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットする⇒P.33

メッセージにしたがって、DVD/CDをセットして[OK]をクリックすると、印刷が始まります。

参　考

- 印刷を中止するときは、リセットボタンを押します。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。

7 DVD/CDを取り出す⇒P.35

重　要

- CD-Rトレイガイドを開いた状態では、通常の用紙を使った印刷はできません。必ずCD-Rトレイガイドを閉じてください。

Easy-PhotoPrint EXの写真印刷機能を使う

Easy-PhotoPrint EXの［写真印刷］では、いろいろなレイアウトでDVD/CDレーベルを印刷できます。
詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなレイアウトでDVD/CDレーベル印刷する

８種類のレイアウトを選べるほか、タイトルを付けたり、写真を円形に切り抜いたりできます。

タイトルを付ける

写真を円形に切り抜く

固定16面／固定50面

ランダム

同心円変形なし／同心円変形あり

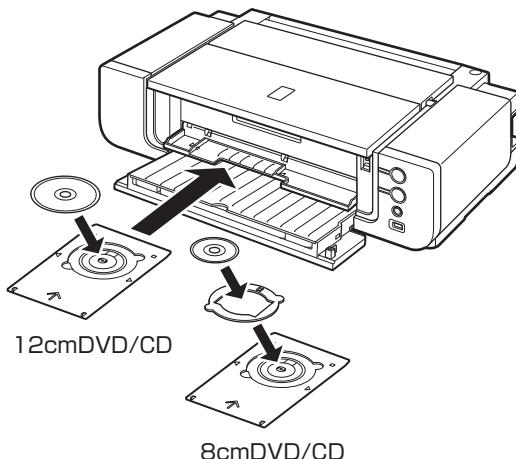
らせん変形なし／らせん変形あり

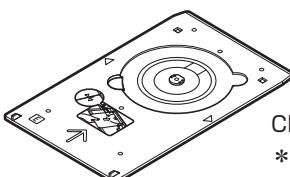
参　考

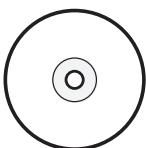
- Easy-PhotoPrint EXから［DVD/CDレーベル］を選ぶと、付属のソフトウェア「らくちんCDダイレクトプリント for Canon」が起動し、写真などを編集・加工してDVD/CDレーベルに印刷することができます。

- らくちんCDダイレクトプリント for Canonのインストール方法については、『かんたんスタートガイド』を参照してください。
- らくちんCDダイレクトプリント for Canonを使った印刷方法については、らくちんCD ダイレクトプリント for Canonの取扱説明書を参照してください。
  Windowsをご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000をご使用の場合は［プログラム］）→［らくちんCD ダイレクトプリント for Canon］→［操作説明］の順に選ぶとご覧になれます。
  Macintoshをご使用の場合は、インストール先で［CDダイレクトプリント］、［マニュアル］フォルダ、［マニュアル］の順にダブルクリックするとご覧になれます。
- らくちんCDダイレクトプリント for Canonに関するご質問・ご相談は、（株）メディアナビにお問い合わせください。
  株式会社メディアナビ　03-5467-1781　http://www.medianavi.jp/「サポート」

DVD/CDをセットする

DVD/CDに印刷するには、付属のCD-Rトレイに DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットして本体に差し込みます。

DVD/CDをセットする前に

DVD/CDに印刷するには次のものが必要です。

CD-Rトレイ（本製品に付属）
＊表面に「E」と入っています

8cmCD-Rアダプタ
（8cmDVD/CDに印刷するときに使用）
＊CD-Rトレイに装着されています

市販の12cmまたは8cm DVD/CD
（プリンタブルディスク）
レーベル面がインクジェット方式のプリンタに対応したもの

重　要

- Easy-PhotoPrint EXの［写真印刷］を使用して8cmDVD/CDに印刷することはできません。

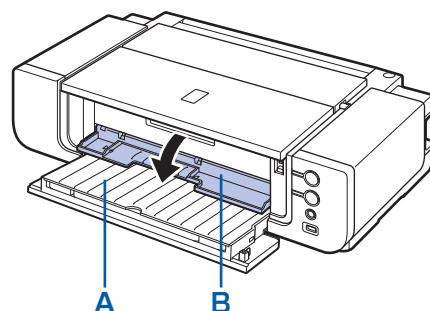
参　考

- プリンタブルディスクとは、レーベル面に特殊な加工が施された印刷が可能なDVD/CDです。推奨のDVD/CDを使うと、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
  推奨品についての最新情報は、キヤノンサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認ください。

DVD/CDをセットする

1 前トレイ(A)をゆっくり手前に開く

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

2 CD-Rトレイガイド(B)を手前に開く

参　考

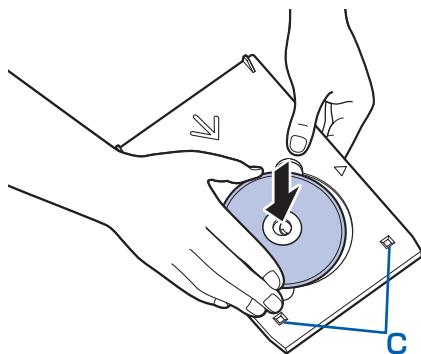
- フロント給紙ボタンが点灯し、前トレイから給紙される状態になっている場合、CD-Rトレイガイドは手前に開きません。前トレイを標準の印刷位置に戻してから、CD-Rトレイガイドを開いてください。⇒P.49

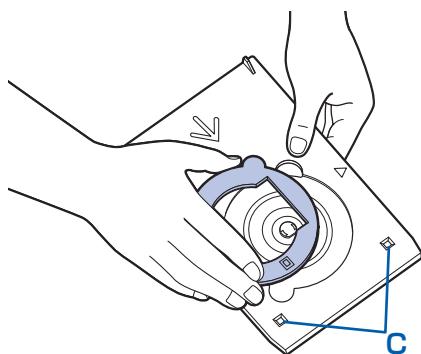
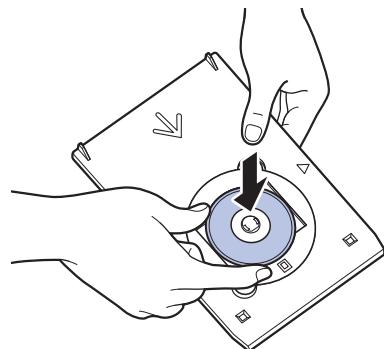
3 CD-RトレイにDVD/CDをセットする

重　要

- CD-Rトレイにゴミなどがないことを確認してからセットしてください。
- セットするときにプリンタブルディスクの印刷面や反射板（C）に触れないでください。

12cmDVD/CDの場合：

印刷面を上にして、ディスクをCD-Rトレイにセットする

8cmDVD/CDの場合：

1 8cmCD-Rアダプタ両端の突起部分を、CD-Rトレイのくぼみに合わせてセットする

2 印刷面を上にして、8cmDVD/CDをCD-Rトレイにセットする

4 CD-Rトレイをセットする

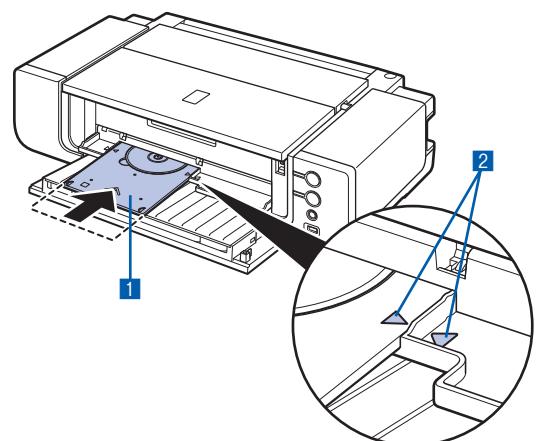
参　考

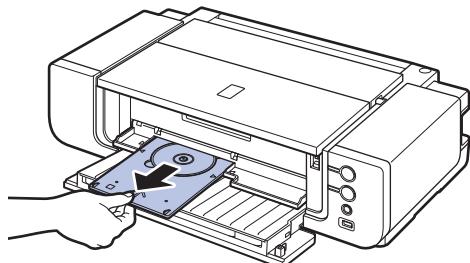
- 本製品の動作中（電源ランプが青色に点滅中）にCD-Rトレイを取り付けないでください。
- 本製品が印刷準備を行うため、セットしたCD-Rトレイが排出されることがあります。その場合は、電源ランプが点滅から点灯に変わるまで待ち、画面の指示にしたがって、CD-Rトレイをセットし直してください。

1 CD-RトレイをCD-Rトレイガイドにセットする

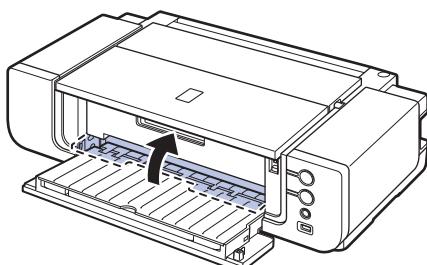
2 CD-Rトレイの矢印（▷）と、CD-Rトレイガイドの矢印（◁）がほぼ合うところまで、まっすぐ挿入する

重　要

- CD-Rトレイガイドの矢印（◁）の位置より奥にCD-Rトレイを押し込まないでください。

DVD/CDを取り出す

1 CD-Rトレイを手前に引いて取り出す

2 CD-Rトレイガイドを閉じる

重　要

- CD-Rトレイガイドを開いた状態では、通常の用紙を使った印刷はできません。必ずCD-Rトレイガイドを閉じてください。

3 DVD/CDを取り外す

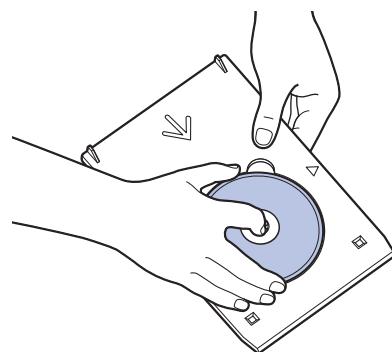
重　要

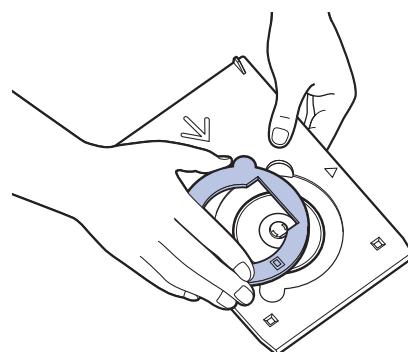
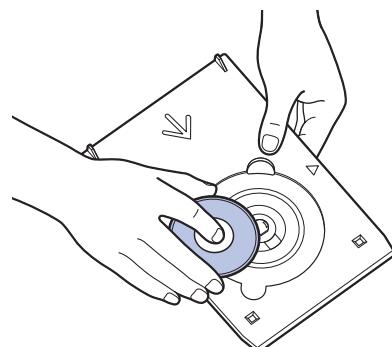
- 取り外す際に印刷面に触れないでください。

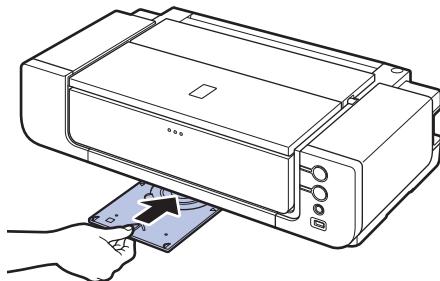
参　考

- 印刷面が十分に乾いてから、取り外してください。CD-Rトレイ上に印刷された場合や、DVD/CDの外側および内側の透明部分に印刷された場合は、印刷面が乾いてから拭き取ってください。

12cmDVD/CDの場合：

CD-RトレイからDVD/CDを取り外す

8cmDVD/CDの場合：

1 8cmCD-Rアダプタを取り外す

2 CD-Rトレイから8cmDVD/CDを取り外す

CD-Rトレイの収納について

CD-Rトレイを使用しないときは、本製品の底面中央にあるCD-Rトレイ収納部にまっすぐ挿入して収納してください。

重　要

- CD-Rトレイは反ると使用できなくなることがあります。必ず平らなところに保管してください。

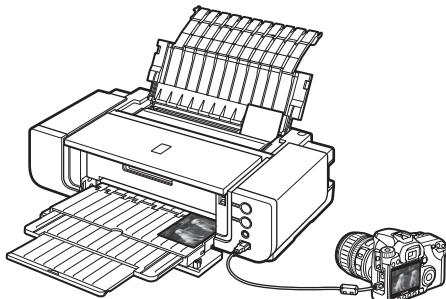
そのほかの使いかた

ここでは、USBケーブルでPictBridge対応のデジタルカメラなどと接続して印刷する機能について紹介しています。
また、操作の手助けとなる『活用ガイド』（電子マニュアル）や『デジタルフォト印刷ガイド』の見かた、Solution Menu（ソリューション・メニュー）、マイ プリンタについても説明しています。

PictBridge対応機器を接続して印刷する

本製品とPictBridgeに対応した機器を各社推奨のUSBケーブルで接続すれば、機器内に保存された画像を直接印刷することができます。

PictBridge対応のデジタルカメラから印刷するときの対応用紙やレイアウト、画像の補正など、基本的な機能については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

また、対応機器での印刷設定方法については、対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

本製品に接続可能な機器：
PictBridgeに対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず接続可能

参　考

- PictBridgeは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを介さずに直接プリンタで印刷するための規格です。
- 対応機器には マークが表示されています。
- 一部のキヤノン製一眼レフPictBridge対応カメラをご使用の場合は、目的に合ったカラーモードを選び、さらに詳細な色調整を行うことができます。カラーモードについては、『活用ガイド』（電子マニュアル）内の『デジタルフォト印刷ガイド』やご使用のキヤノン製PictBridge対応機器の取扱説明書を参照してください。

印刷可能な画像データ：
DCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver2.2/2.21準拠）

『活用ガイド』（電子マニュアル）について

付属のCD-ROM『セットアップCD-ROM』には、パソコンの画面で見る取扱説明書（電子マニュアル）の『活用ガイド』が収録されています。

『活用ガイド』では、本書には記載されていない使いかたや各種設定のしかた、トラブルが起こったときの対処方法、付属のアプリケーションソフトの使いかたについて説明しています。
また、『活用ガイド』の中には、色や画質の再現にこだわった写真編集や印刷を行うためのカラーマネジメントの基礎知識や、設定のポイントについて説明している『デジタルフォト印刷ガイド』が含まれています。

本製品の機能を十分に知ってご活用いただくために、『活用ガイド』をご利用ください。

参考

- 『活用ガイド』をインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［電子マニュアル（取扱説明書）］を選んでインストールします。
- 『活用ガイド』は、Solution Menu（ソリューション・メニュー）から表示することもできます。⇒P.40

※画面はWindows Vistaのものです。

『デジタルフォト印刷ガイド』

『活用ガイド』を表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

『活用ガイド』の画面では次のようなことができます。

- 『活用ガイド』をまとめて印刷したり、特定の章や項目だけを印刷したりできます。
- よく見るページを「マイマニュアル」として登録しておくことができます。
- メニューの［デジタルフォト印刷ガイド］をクリックすると、『デジタルフォト印刷ガイド』を見ることができます。

Macintosh

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

- メニューの［デジタルフォト印刷ガイド］をクリックすると、『デジタルフォト印刷ガイド』を見ることができます。

Solution Menuとマイ プリンタについて

Solution Menu（ソリューション・メニュー）やマイ プリンタは、パソコンのウィンドウ上のボタンをクリックするだけで、本製品に関する情報をかんたんに表示したり、設定できる便利なソフトウェアです。

Solution Menuからは、本製品に付属のアプリケーションソフトを起動したり、操作方法の説明を表示できます。また、トラブルの対処方法について知ることもできます。

マイ プリンタからは、プリンタドライバの設定画面を表示したり、操作に困ったときに対処方法について知ることもできます。マイ プリンタはMacintoshではご使用になれません。

Solution Menuを表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

Macintosh

Dock内にあるアイコン をクリックする

※画面はWindows Vistaのものです。

使いたい機能のボタンをクリックします。

起動後は、タイトルバーのボタンをクリックしてサイズを変更できます。

参　考

- Solution Menuをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Solution Menu］を選んでインストールします。

Windows

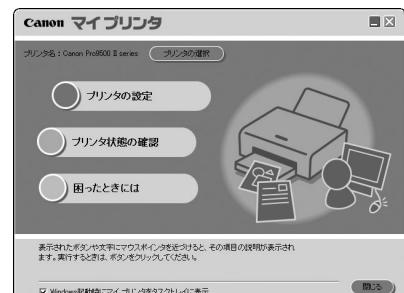
- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon Utilities］→［Solution Menu］→［Solution Menu］の順に選びます。

Macintosh

- メニューバーから表示するときは、［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Solution Menu］の順に選び、［Solution Menu］をダブルクリックします。

マイ プリンタを表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

参　考

- マイ プリンタはSolution Menuからも表示することができます。
- マイ プリンタをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［マイ プリンタ］を選んでインストールします。
- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows 2000をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon Utilities］→［マイ プリンタ］→［マイ プリンタ］の順に選びます。

用紙セットのしかた

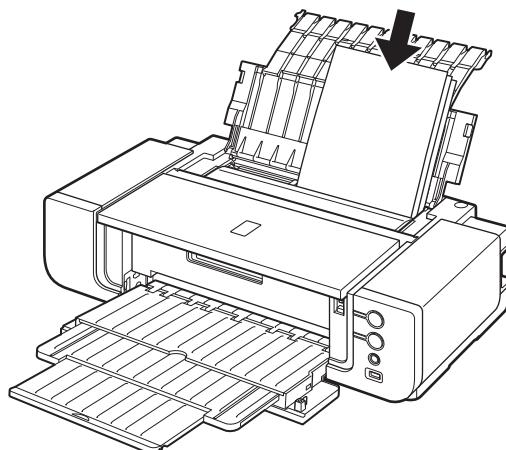
ここでは、本製品で使用できる用紙の種類と、印刷する用紙を後トレイまたは前トレイにセットする方法について説明しています。

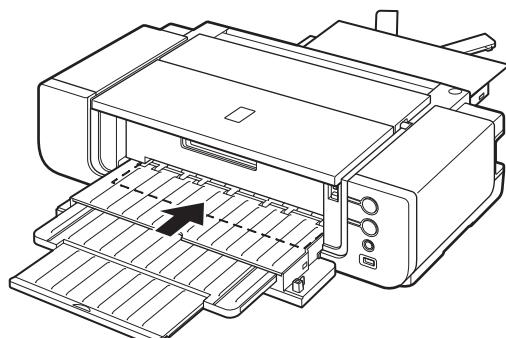
用紙をセットする

用紙のセット位置について

用紙は、後トレイと前トレイの２箇所にセットすることができます。
用紙サイズや種類に合わせて、給紙箇所を選んでください。
⇒「使用できる用紙について」（P.50）

後トレイにはいろいろなサイズの用紙をまとめてセットできます

L判からA3ノビ、四切までのいろいろなサイズの用紙をセットできます。一度に複数枚セットでき、連続で印刷できます（用紙の種類によっては１枚ずつ給紙するものもあります）。
印刷するときにプリンタドライバの印刷設定で、[給紙方法] を [後トレイ] に設定してください。

前トレイには大きな用紙や厚い用紙を１枚ずつセットできます

半切などの大きなサイズの用紙や、アート紙、ボード紙などの厚い用紙をセットできます。
印刷するときにプリンタドライバの印刷設定で、[給紙方法] を [前トレイ] に設定してください。

用紙をセットするときの注意について

●普通紙に印刷するときの注意

重　要

- 普通紙をL判、2L判、KGサイズの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

参　考

- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.50）を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイトSW-101が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口SW-201がお勧めです。
  本製品で使用できる用紙サイズ、重さ／厚さについては、「使用できる用紙について」（P.50）を参照してください。

●はがきに印刷するときの注意

重　要

- 普通紙をはがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきに印刷するときは、ご使用のアプリケーションソフトおよびプリンタドライバで用紙サイズを必ず「往復はがき」に設定してください。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

参　考

- はがきの両面に1面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをお勧めします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷がついたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.50）を参照してください。

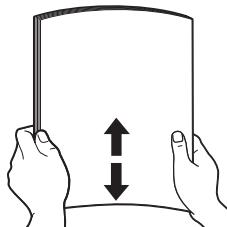
後トレイに用紙をセットする

用紙をセットする前に、注意事項を確認してください。
⇒「用紙をセットするときの注意について」(P.43)

参　考

- 後トレイには、A3ノビ、A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、KG、US 4×8、US 5×7、11×17（Tabloid)、はがき、往復はがき、L判、2L判、ワイド、六切、四切などの用紙をセットできます。

1 用紙の準備をする

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

参　考

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「印刷面が汚れる／こすれる」（P.92）を参照してください。
- キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのままセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

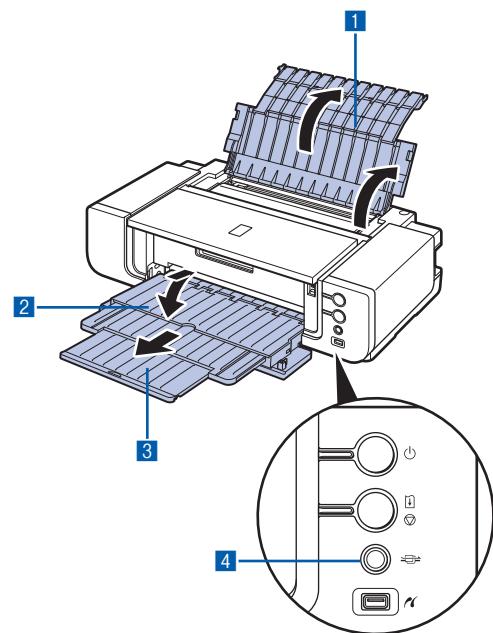
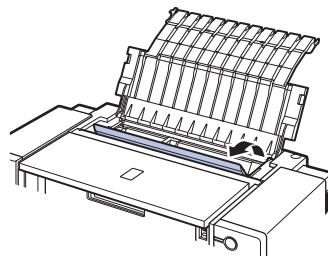
2 用紙をセットする

1 用紙サポートを開く

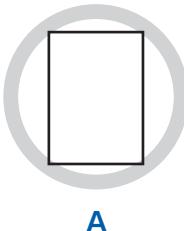
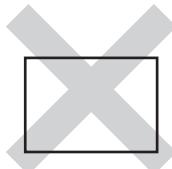
2 前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開く

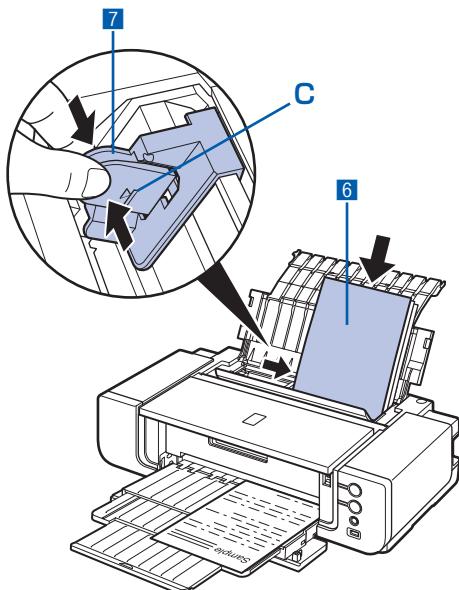
3 補助トレイを引き出す

4 フロント給紙ボタンが消灯していることを確認する

点灯／点滅している場合は、前トレイを標準の印刷位置に戻してください。⇒P.49

5 給紙口カバーを開く

6 用紙の印刷面を上にして、後トレイの右端に合わせ、用紙をまっすぐにセットする

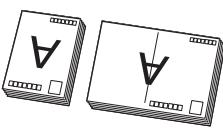
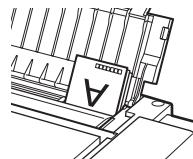
重 要

- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向（A）にセットしてください。横方向（B）にセットすると紙づまりの原因となります。

7 用紙ガイドをつまんで動かし、用紙の左端に合わせる

用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

参 考

- 用紙は（C）の線を越えないようにセットしてください。

はがきの場合：

- 郵便番号欄を下向きにセットします。用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

8 給紙口カバーを閉じる

参 考

用紙をセットしたら

- プリンタドライバで［出力用紙サイズ］（［用紙サイズ］）と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。

  Windowsの場合

  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.20）

  Macintoshの場合

  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.23）

前トレイに用紙をセットする

用紙をセットする前に、注意事項を確認してください。

⇒「用紙をセットするときの注意について」（P.43）

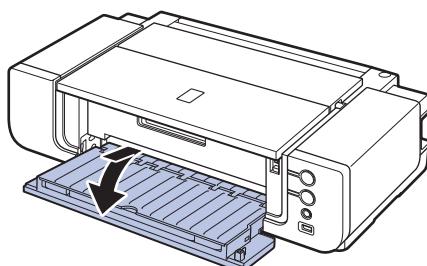
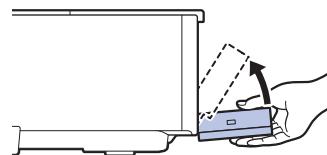
重　要

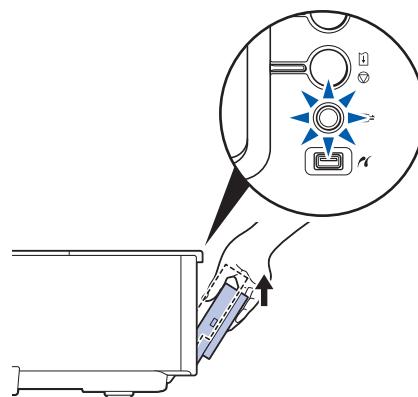
- 前トレイから給紙する場合は、本製品にセットした用紙が本製品の後方にはみ出します。本製品の後方に十分なスペース（40cm）を確保してください。
- 本製品を移動させる場合は、本製品の手前を持ち上げ、本製品底面の後部の車輪を使って前後へ移動させてください。

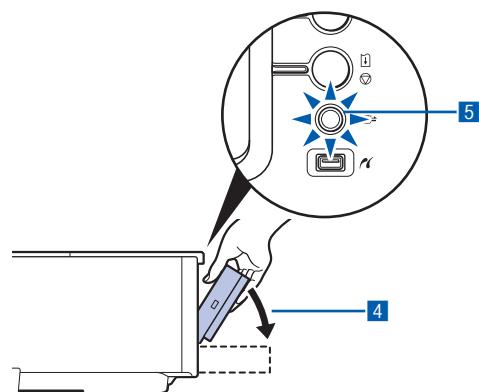
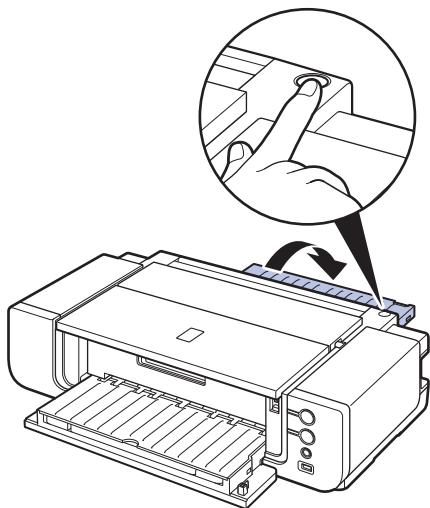
参　考

- 前トレイには、A3ノビ、A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、KG、US 4×8、US 5×7、11×17（Tabloid）、はがき、往復はがき、2L判、ワイド、六切、四切、半切などの用紙をセットできます。
- PictBridge対応機器から半切サイズ以外の用紙に印刷する場合は、後トレイに用紙をセットしてください。PictBridge対応機器で使用できる用紙については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

1 前トレイをフロント給紙位置にセットする

1 前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開く

2 前トレイを傾ける

3 前トレイを止まるまで引き上げる

フロント給紙ボタンが点灯します。

4 前トレイを引き上げたまま、手前に開いて前トレイから給紙できる位置にセットする

5 フロント給紙ボタンが点灯していることを確認する

2 フロントト給紙サポートボタンを押して、フロント給紙サポートを開く

3 用紙セットの準備をする

1 補助トレイを引き出す

2 フロント給紙サポートの右側の角を押し、V字サポートを開く

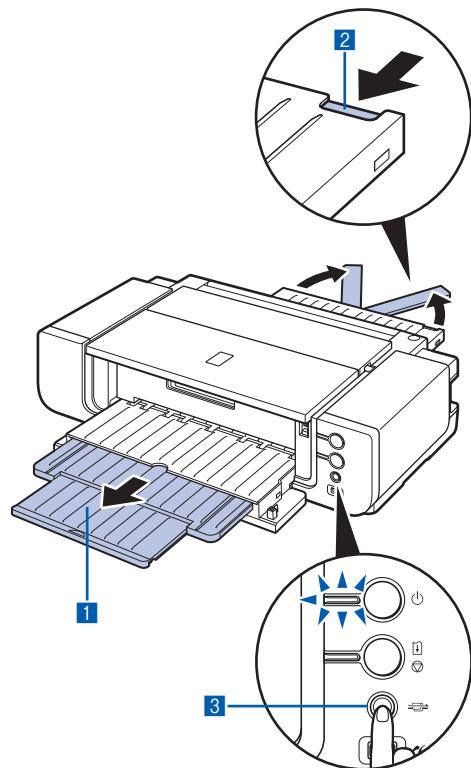
参 考

- A4サイズ以下の用紙をセットするときは、この手順は不要です。

3 フロント給紙ボタンを押す

動作音が鳴り、電源ランプが約30秒点滅します。

重 要

- 電源ランプが点滅しているときは、用紙をセットしないでください。用紙に傷が付いたり、本製品の損傷の原因となることがあります。

4 用紙をセットする

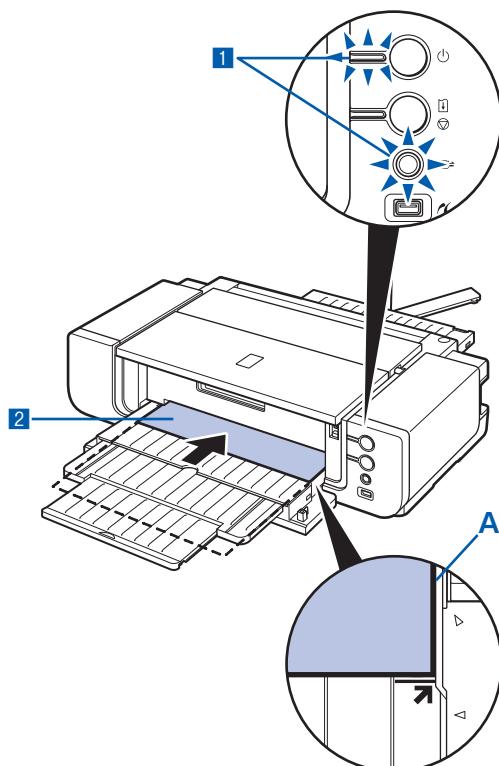
1 電源ランプが点灯し、フロント給紙ボタンがはやく点滅していることを確認する

電源ランプが点滅している間は、点灯に変わるまでお待ちください。

2 印刷面を上にして、用紙の手前が前トレイの に合うように、まっすぐ奥まで挿入する

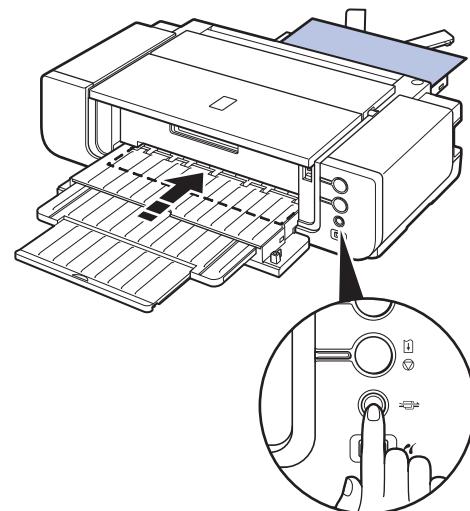
用紙は１枚ずつセットしてください。

参 考

- 用紙の右端を前トレイの右端（A）にしっかり合わせ、まっすぐに挿入してください。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「印刷面が汚れる／こすれる」（P.92）を参照してください。
- キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのままセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

重 要

- 1の状態で本製品を約５分放置しておくと、フロント給紙ボタンが点滅から点灯に変わり、用紙をセットできなくなります。その場合は、手順３の3からやり直してください。

5 フロント給紙ボタンを押して、前トレイから給紙できる状態にする

用紙が自動的に引き込まれ、フロント給紙ボタンがゆっくり点滅します。
印刷を開始することができます。

参 考

用紙をセットしたら

- プリンタドライバで［出力用紙サイズ］（［用紙サイズ］）と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.20）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.23）

続けて印刷する場合

- 引き続き前トレイから印刷する場合は、手順３の3に戻って前トレイに用紙をセットしてから、次の印刷を開始してください。

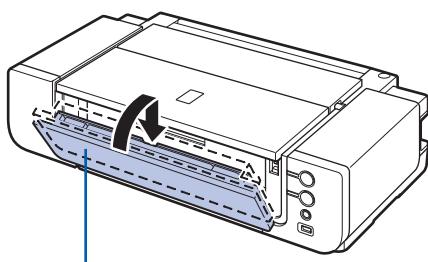
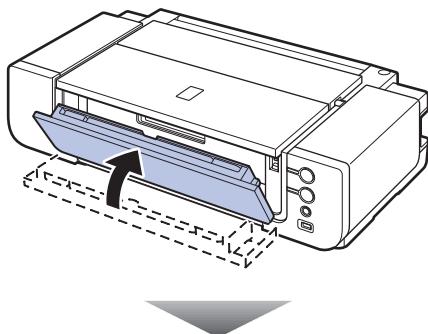
前トレイの戻しかた

後トレイまたはCD-Rトレイを使って印刷する場合は、前トレイを標準の印刷位置に戻します。

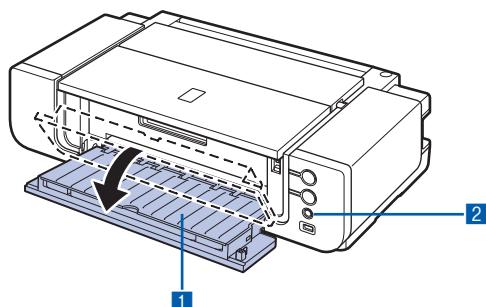
重　要

- 前トレイを標準の印刷位置に戻すには、以下の手順を守ってください。手順どおりに操作しないと、本体の破損の原因となります。
- 前トレイから給紙できる状態にしている場合は、後トレイまたはCD-Rトレイを使った印刷はできません。必ず標準の印刷位置に戻してください。

1　前トレイを持って、閉じるようにゆっくり傾ける

傾けていくと、前トレイが標準の印刷位置に下がります。

2　前トレイを開く

1 前トレイを開き、標準の位置に戻す

2 フロントト給紙ボタンが消灯していることを確認する

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、写真や文書のための用紙はもちろん、シール紙やはがきなど、印刷の楽しさを広げるさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

種類

市販の用紙

用紙の名称＜型番＞*1	給紙の最大積載枚数		排紙の最大積載枚数*2	プリンタドライバの設定［用紙の種類］
	後トレイ	前トレイ		
普通紙（再生紙を含む）*3	約150枚*4	1枚	約50枚	普通紙
はがき／年賀はがき	40枚		40枚	はがき
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	40枚		40枚	（通信面）インクジェットはがき （宛名面）はがき
往復はがき*3	40枚		*5	はがき

キヤノン純正紙

用紙の名称＜型番＞*1	給紙の最大積載枚数		排紙の最大積載枚数*2	プリンタドライバの設定［用紙の種類］
	後トレイ	前トレイ		
書類の印刷に				
カラー普通紙 ＜LC-301＞	約100枚	1枚	約50枚	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト ＜SW-101＞	約130枚		約50枚	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 ＜SW-201＞	約100枚		約50枚	普通紙
写真の印刷に				
キヤノン写真用紙・光沢 プロ［プラチナグレード］ ＜PT-101＞*4 *6	A3ノビ、四切：1枚 A3、A4、2L判、六切：10枚 L判、はがき、KG：20枚	1枚 （L判は使用できません*7）	*5	光沢プロ プラチナグレード
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド ＜GL-101＞*6				写真用紙 光沢ゴールド
キヤノン写真用紙・絹目調 ＜SG-201＞*4 *6				写真用紙 絹目調
マットフォトペーパー ＜MP-101＞				マットフォトペーパー
ファインアートペーパー・“Photo Rag” ＜FA-PR1＞*8	1枚	1枚		ファインアート “Photo Rag”
ファインアートペーパー・“Museum Etching” ＜FA-ME1＞*8	使用できません*9			ファインアート “Museum Etching”

用紙の名称＜型番＞*1	給紙の最大積載枚数		排紙の最大積載枚数*2	プリンタドライバの設定［用紙の種類］
	後トレイ	前トレイ		
ファインアートペーパー・プレミアムマット＜FA-PM1＞*8	使用できません*9	1枚	*5	ファインアート プレミアムマット
年賀状、挨拶状の印刷に				
ハイグレードコートはがき＜CH-301＞	40枚	1枚	40枚	（通信面）インクジェットはがき （宛名面）はがき
オリジナルグッズ作りに				
ピクサスプチシール＜PS-101＞*10（16面光沢フォトシール）	1枚	1枚	*5	写真用紙 光沢ゴールド
ピクサスプチシール・フリーカット＜PS-201＞*10				写真用紙 光沢ゴールド
フォトシールセット＜PSHRS＞*10（2面/4面/9面/16面）				写真用紙 光沢ゴールド

*1　＜型番＞のあるものは、キヤノン純正紙です。用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。また、種類によって取り扱っているサイズが異なります。詳しくは、キヤノンピクサスホームページcanon.jp/pixusをご覧ください。

*2　後トレイから給紙し、前トレイに排出される用紙の最大積載枚数です。前トレイにセットして印刷する場合は、毎回用紙を取り除いてください。

*3　用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分以下に減らしてください。（再生紙は古紙配合率100%の再生紙が使用できます。）

*4　半切は後トレイでは使用できません。

*5　にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を前トレイから取り出すことをお勧めします。

*6　用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られない場合があります。その場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。

*7　前トレイから給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ず後トレイにセットしてください。

*8　ファインアートペーパー・“Photo Rag”、ファインアートペーパー・“Museum Etching”およびファインアートペーパー・プレミアムマットをご使用の場合は、印刷方向に対して、用紙の上下端35mmは印刷されません。アート紙専用の用紙サイズを選択すると、上下端35mmには印刷しないように制限がかかります。印刷を行う前に印刷内容をプレビュー画面に表示させて印刷範囲を確認することをお勧めします。プレビューについて、詳しくは『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
キヤノン純正紙は最適な印刷品質を得られるように製造・管理されています。キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

*9　後トレイから給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ず前トレイにセットしてください。

*10『セットアップCD-ROM』に付属のEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと印刷の設定がかんたんにできます。パソコンにインストールしてご使用ください。

キヤノン純正紙以外の特殊な用紙

セットのしかた

後トレイ、前トレイともに、1枚ずつセットします。

重　要

- プリンタドライバの［用紙の種類］で［キャンバス］または［ボード紙］を選択した場合は、用紙を前トレイにセットしてください。後トレイからは印刷できません。

プリンタドライバの設定と給紙箇所

用紙の特徴	［用紙の種類］	［用紙サイズ］	給紙箇所	
			後トレイ	前トレイ
画材紙の風合いをもつ用紙	他社ファインアート紙	アートXX（余白35mm）*1	○ *2	○
キャンバス地の風合いをもつ布地	キャンバス	アートXX（余白35mm）*1	×	○
ボード紙、厚紙（厚さ0.6mm ～ 1.2mm）	ボード紙 *3	アートXX（余白35mm）*1	×	○

*1　用紙サイズを［アートLetter（余白35mm）］（Windows）／［アートレター（余白35mm）］（Macintosh）、［アートA4（余白35mm）］、［アートA3（余白35mm）］、［アートA3ノビ（余白35mm）］から選んでください。印刷できる範囲については、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

*2　重さ200g/m^2以下の用紙のみ。

*3　［ボード紙］以外に設定すると、故障の原因になることがありますので、必ず［ボード紙］に設定してください。

参　考

- キヤノン純正紙以外の用紙を使う場合は、他社製対応用紙を使うとよりきれいな印刷結果を得ることができます。以下のサイトで、他社製対応用紙を紹介しています。
  インターネットへの接続料金はお客様のご負担となりますので、ご注意ください。
  ⇒ canon.jp/pixus
  他社製対応用紙の情報は、不定期に更新されます。また、他社製対応用紙の仕様は予告なく変更されることがあります。
- 付属のCD-Rトレイを使い、DVD/CD（プリンタブルディスク）に印刷することができます。詳しくは、「DVD/CDの印刷」（P.27）を参照してください。

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

- 後トレイにセットできる用紙サイズは、以下のとおりです。
  A3ノビ、A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、KG、US 4×8、US 5×7、11×17（Tabloid）、はがき、往復はがき、L判、2L判、ワイド、六切、四切
- 前トレイにセットできる用紙サイズは、以下のとおりです。
  A3ノビ、A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、KG、US 4×8、US 5×7、11×17（Tabloid）、はがき、往復はがき、2L判、ワイド、六切、四切、半切

定型：

- Letter 8.5 x 11［レター］（215.9×279.4mm）
- Legal［リーガル］（215.9×355.6mm）
- 11 x 17［Tabloid］（279.4×431.8mm）
- A5（148.0×210.0mm）
- A4（210.0×297.0mm）
- A3（297.0×420.0mm）
- A3ノビ（329.0×483.0mm）
- B5［B5（JIS）］（182.0×257.0mm）
- B4［B4（JIS）］（257.0×364.0mm）
- KG（101.6×152.4mm）
- US 4 x 8（101.6×203.2mm）
- US 5 x 7（127.0×177.8mm）
- 六切（203.2×254.0mm）
- 四切（254.0×304.8mm）
- 半切（355.6×431.8mm）
- L判（89.0×127.0mm）
- 2L判（127.0×178.0mm）
- はがき（100.0×148.0mm）
- 往復はがき（200.0×148.0mm）
- ワイド101.6 x 180.6mm［ワイド］（101.6×180.6mm）
- アートLetter（余白35mm）［アートレター（余白35mm）］（215.9×279.4mm）
- アートA4（余白35mm）（210.0×297.0mm）
- アートA3（余白35mm）（297.0×420.0mm）
- アートA3ノビ（余白35mm）（329.0×483.0mm）

非定型：

以下の範囲内で用紙サイズを設定することもできます。

- 最小サイズ：89.0mm×127.0mm（後トレイ）
  100.0mm×148.0mm（前トレイ）
- 最大サイズ：329.0mm×676.0mm（後トレイ）
  355.6mm×584.2mm（前トレイ）

重さ／厚さ

後トレイ：64～105g/m^2（キヤノン純正紙以外の普通紙）

* 他社製のアート紙などの場合は、重さ200g/m^2までご使用いただけます。
詳しくは、「キヤノン純正紙以外の特殊な用紙」（P.52）を参照してください。この範囲外の重さの用紙（キヤノン純正紙以外）は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

前トレイ：0.1～1.2mm
この厚さを超える用紙は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙
  後トレイ：重さ64g/m^2未満
  前トレイ：厚さ0.1mm未満
- 厚すぎる用紙
  後トレイ：キヤノン純正紙以外の普通紙で重さ105g/m^2を超えるもの
  * ただし他社製のアート紙などの場合は重さ200g/m^2までご使用いただけます。詳しくは、「キヤノン純正紙以外の特殊な用紙」（P.52）を参照してください。
  前トレイ：厚さ1.2mmを超えるもの
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／L判など、A5サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ステープルや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙
- 以下のキヤノン純正紙には印刷できません。
  キヤノン写真用紙・光沢 プロフェッショナルPR-201、キヤノン写真用紙・光沢GP-501、キヤノン写真はがき・光沢KH-301、フォト光沢ハガキKH-201N、プロフェッショナルフォトはがきPH-101、高品位専用紙HR-101S、およびTシャツ転写紙TR-301

用紙の取り扱いについて

- すべての用紙は、こすったり、傷をつけたりしないように丁寧に扱ってください。
- できるだけ用紙の端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。手についた汗や油分が印刷面に付くと、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷後は、インクが十分に乾いてから取り扱ってください。また乾いたあとも、できるだけ印刷した面に触れないよう丁寧に扱ってください。顔料インクの特性上、こすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合があります。
- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

お手入れ

ここでは、インクがなくなったときのインクタンクの交換方法、印刷がかすれたときのクリーニングの方法、用紙がうまく送られない場合の対処方法などについて説明します。

インクタンクを交換する

印刷中にインクがなくなると、エラーランプがオレンジ色に4回または17回点滅し、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。なくなったインクを確認して、新しいインクタンクに交換してください。

参　考

- インクがなくなるなどのエラーが発生すると、エラーランプがオレンジ色に点滅してお知らせします。「困ったときには」の「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」（P.79）の「4回」または「17回」を参照して対処方法を確認してください。
- 本製品で使用できるインクタンクの番号については、本書の裏表紙を参照してください。
- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.62）を参照してください。

交換の操作

インクタンクのインクがなくなったときは、次の手順でインクタンクを交換します。

重　要

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例*も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
（*すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。）
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後 6 ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

参　考

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷をするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。
また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。
インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。

1 電源が入っていることを確認し、前トレイをゆっくり手前に開く

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

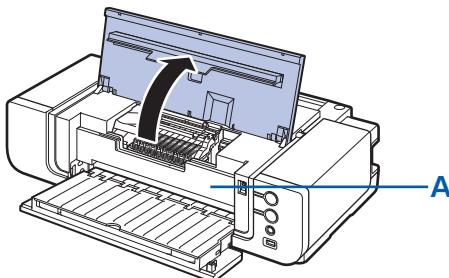
2 トップカバーを開く

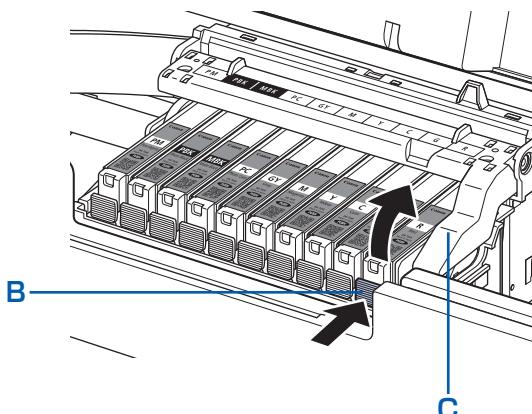
プリントヘッドホルダが交換位置に移動します。

⚠注意

- プリントヘッドホルダが動いている間はプリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。プリントヘッドホルダの動きが止まるまでは、手を触れないでください。

重　要

- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。
- トップカバーを開いたままにしていると、プリントヘッドホルダが右側へ移動します。その場合は、いったんトップカバーを閉じ、再度開けてください。
- フロント給紙ボタンがはやく点滅しているときにトップカバーを開けると、プリントヘッドが交換位置に移動しない場合があります。その場合は、いったんトップカバーを閉じ、フロント給紙ボタンを押して、フロント給紙ボタンが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。インクタンクを交換したあと、引き続き前トレイから印刷する場合は、「前トレイに用紙をセットする」の手順3の3 （P.47）からやり直してください。
- インクタンクを交換するときは、CD-Rトレイガイド（A）を開けないでください。
  インクタンクを交換後、CD-Rトレイガイド（A）が開いている場合は必ず閉じてください。

3 インクランプの点滅が速いインクタンクを取り外す

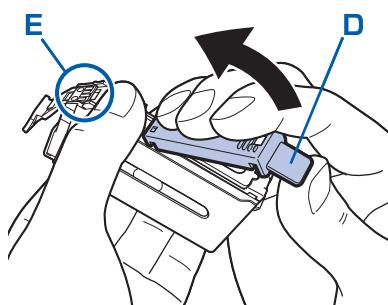
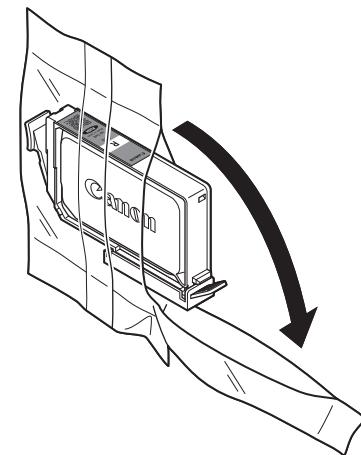
インクタンクの固定つまみ（B）を押し、インクタンクを上に持ち上げて外します。
プリントヘッドの固定レバー（C）には触れないようにしてください。

重　要

- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。
  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.121）を参照してください。

参　考

- 一度に複数のインクタンクを外さず、必ず１つずつ交換してください。
- インクランプの点滅速度については、「インクの状態を確認する」（P.60）を参照してください。

4 インクタンクを準備する

1 新しいインクタンクを袋から出す

2 インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップ（D）を図のように取り外す

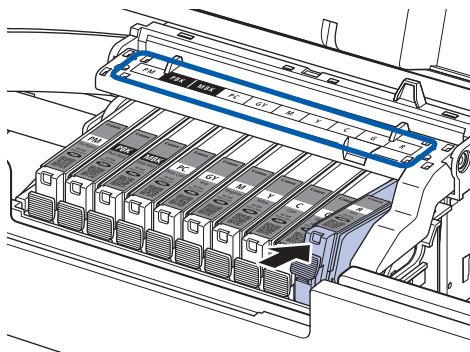
指にインクが付着しないように、キャップを押さえながら取り外してください。
取り外した保護キャップは捨ててください。

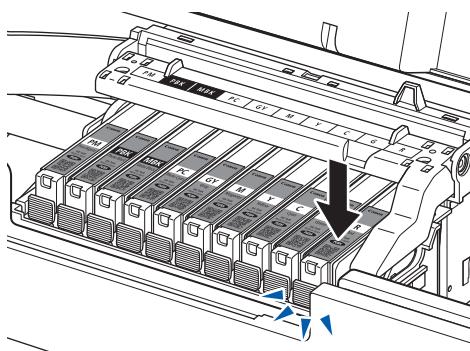
重　要

- インクタンクの基板部分（E）には触らないでください。正常に動作／印刷できなくなるおそれがあります。

重　要

- インクタンクを振るとインクが飛び散り、手やまわりのものを汚すおそれがあります。インクタンクの取り扱いには注意してください。
- インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。
- 取り外した保護キャップに付いているインクで、手やまわりのものを汚すおそれがあります。ご注意ください。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって処分してください。
- 保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

5 インクタンクを取り付ける

1 新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込む

ラベルに合わせて取り付けます。

2 インクタンク上面のPUSH部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定する

取り付けたら、インクランプが赤く点灯したことを確認してください。

重　要

- インクタンクの取り付け位置を間違えると印刷できません。プリントヘッドホルダに付いているラベルに合わせ、インクタンクを正しい位置に取り付けてください。
- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。必ずすべてのインクタンクをセットしてください。

6 トップカバーを閉じる

本製品が自動的にインクをかき混ぜます。

電源ランプが点滅から点灯に変わり、動作音がしなくなるまでお待ちください（最長で３分程度かかります）。

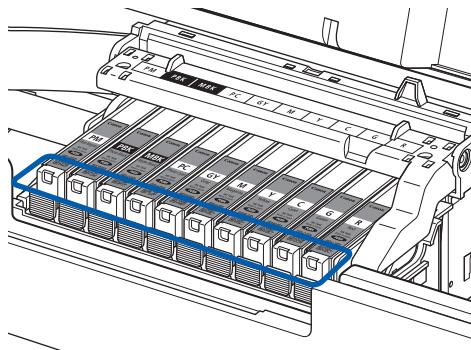
本製品の動作中（電源ランプが青色に点滅中）は、トップカバーを開けないでください。

参　考

- トップカバーを閉じたあとにエラーランプがオレンジ色に点滅した場合は、「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」（P.79）を参照してください。
- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。クリーニング中は電源ランプが青色に点滅しますので、終了するまでほかの操作を行わないでください。
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。⇒P.71

インクの状態を確認する

インクの状態は、インクランプやパソコンの画面で確認することができます。

インクランプで確認する

1 **電源が入っていることを確認し、前トレイをゆっくり手前に開く**

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

2 **トップカバーを開く**

3 **インクランプの状態を確認する**

点灯

インクタンクは正しく取り付けられていて、印刷するのに十分なインクが残っています。

点滅

- **ゆっくり点滅（約３秒間隔）**

・・・繰り返し

インクが少なくなっています。しばらくは印刷を続けられますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

- **はやく点滅（約１秒間隔）**

・・・繰り返し

インクタンクが間違った位置に取り付けられているか、インクがなくなっています。プリントヘッドホルダに付いているラベルのとおりに正しい位置に取り付けられているか確認してください。取り付け位置が正しいのにインクランプが点滅している場合は、インクがなくなっています。新しいインクタンクに交換してください。

消灯

インクタンクがしっかり取り付けられていないか、インク残量検知機能を無効にしています。インクタンクがしっかり取り付けられていない場合は、インクタンクのPUSHの部分を「カチッ」と音がするまでしっかり押してください。しっかりセットできない場合は、インクタンクの底部にあるオレンジ色の保護キャップが外れているか確認してください。インク残量検知機能を無効にしている場合は、新しいインクタンクを取り付けてください。⇒P.56
インクタンクを取り付け直してもインクランプが点灯しない場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。本製品のエラーランプをご確認ください。⇒P.79

パソコンの画面で確認する

Windowsをご使用の場合はプリンタ状態の確認画面、Macintoshをご使用の場合はCanon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）でインクの状態を確認できます。

Windows

ここのマークを確認します

Macintosh

ここのマークを確認します

! の付いたインクが少なくなっています。しばらくは印刷を続けられますが、新しいインクタンクのご用意をお勧めします。

参　考

• 印刷中にメッセージが表示される場合があります。メッセージの内容を確認して必要な対処を行ってください。

確認画面の表示方法は以下のとおりです。

Windows

1 プリンタドライバの設定画面を開く⇒P.76

2 [ユーティリティ]タブの[プリンタ状態の確認]ボタンをクリックする

[インク詳細情報] メニューをクリックすると、インク情報を確認することができます。

参　考

• 印刷中の場合は、タスクバー上の［Canon（ご使用の製品名)］をクリックして表示させることもできます。

Macintosh

1 Canon IJ Printer Utilityを開く⇒P.76

2 ポップアップメニューから[インク情報]を選ぶ

[インク詳細情報] ボタンをクリックすると、インク情報を確認することができます。

お手入れ

印刷にかすれやむらがあるときには

印刷結果がかすれたり、色が正しく印刷されないときは、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。以下の手順に沿って、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認し、プリントヘッドのクリーニングを行います。
また、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

重　要

- プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、拭いたりしないでください。プリントヘッドやインクタンクの故障の原因になります。

参　考

お手入れを行う前に

- トップカバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。
  点滅または消灯しているインクランプがある場合は、「インクの状態を確認する」（P.60）を参照して、必要な操作を行ってください。
- 印刷結果にむらがある場合は、プリンタドライバからインク品質保持を行うと改善される場合があります。⇒P.73
- プリンタドライバの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。詳しくは『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

印刷がかすれている、むらがある場合：

Step 1
ノズルチェックパターンを印刷する⇒P.63
ノズルチェックパターンを確認する⇒P.65

パターンに白い横すじがある場合

Step 2
プリントヘッドをクリーニングする⇒P.66

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認

２回繰り返しても改善されない場合

Step 3
プリントヘッドを強力クリーニングする⇒P.68

参　考

- Step ３までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.120

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

プリントヘッド位置を調整する⇒P.71

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

用意するもの：A4サイズの普通紙1枚

参　考

- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。⇒P.56

パソコンを使わずにノズルチェックパターンを印刷する

- ノズルチェックパターンは、本製品のリセットボタンを押して印刷することもできます。
  1. 電源が入っていることを確認し、後トレイにA4サイズの普通紙を1枚セットする
  2. 前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す
     CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。
  3. リセットボタンを押し続け、電源ランプが青色に2回点滅したときに放す
     ノズルチェックパターンが印刷されます。
     印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。
     ノズルチェックパターンを確認して、必要な対処をしてください。⇒P.65

Windows

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイにA4サイズの普通紙を1枚セットする

重　要

- 前トレイからはノズルチェックパターンの印刷はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

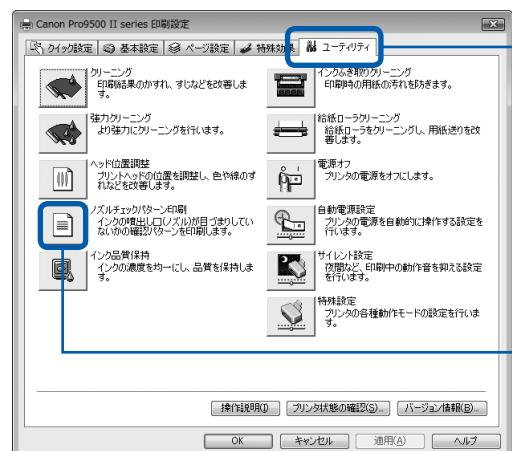
前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4 プリンタドライバの設定画面を開く⇒P.76

5 ノズルチェックパターンを印刷する

1. ［ユーティリティ］タブをクリックする
2. ［ノズルチェックパターン印刷］をクリックする

3. 表示されたメッセージを確認して、［確認パターン印刷］ボタンをクリックする
   ノズルチェックパターンが印刷されます。印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。

参　考

- ［確認事項］ボタンをクリックすると、ノズルチェックパターンを印刷する前の確認事項が表示されます。

6 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.65

Macintosh

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイにA4サイズの普通紙を1枚セットする

重　要

- 前トレイからはノズルチェックパターンの印刷はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

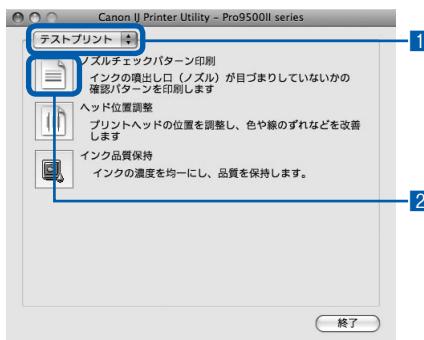
重　要

- CD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてください。

4 Canon IJ Printer Utility(キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ)を開く⇒P.76

5 ノズルチェックパターンを印刷する

1 ポップアップメニューから[テストプリント]を選ぶ

2 [ノズルチェックパターン印刷］をクリックする

3 表示されたメッセージを確認して、［確認パターン印刷］ボタンをクリックする

ノズルチェックパターンが印刷されます。印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。

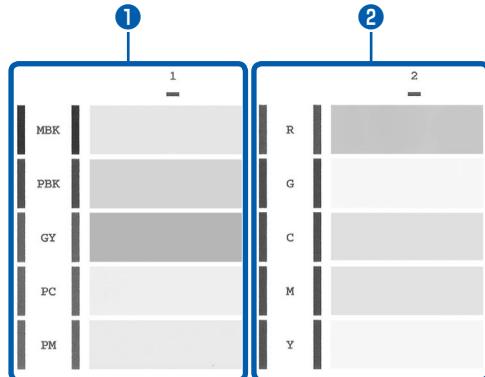
参　考

- ［確認事項］ボタンをクリックすると、ノズルチェックパターンを印刷する前の確認事項が表示されます。

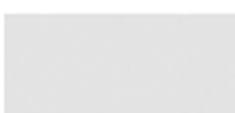
6 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.65

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

1 ❶または❷のパターンに白い横すじが入っていないかを確認する

❶部分に白い横すじがある場合
グループ1（MBK、PBK、GY、PC、PMのいずれか）のインクタンクのクリーニングが必要

❷部分に白い横すじがある場合
グループ2（R、G、C、M、Yのいずれか）のインクタンクのクリーニングが必要

❶部分と❷部分の両方に白い横すじがある場合
全色一括のインクタンクのクリーニングが必要

（白い横すじがない場合）
⇒クリーニング不要

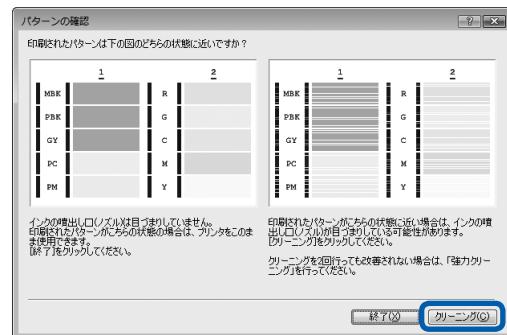
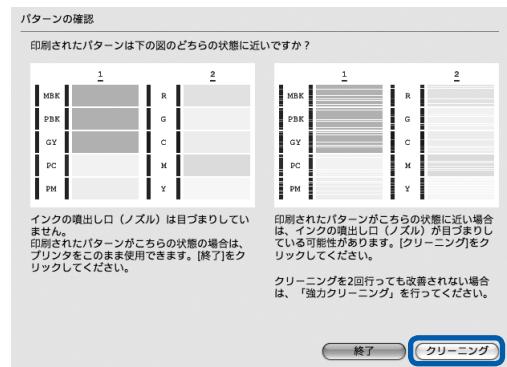
（白い横すじがある場合）
⇒クリーニングが必要

2 必要な対処をとる

クリーニングが不要な場合
［パターンの確認］ダイアログで［終了］ボタンをクリックしてノズルチェックパターンの確認を終了します。

クリーニングが必要な場合

1 ［クリーニング］ボタンをクリックする

Windows

Macintosh

2 後トレイにA4サイズの普通紙を1枚セットする

以降は、次の「プリントヘッドをクリーニングする」（Windowsの場合はP.66、Macintoshの場合はP.67）の手順5の3に進んでください。

参考

- 巻末の「ヒント集」（P.129）にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせて参照してください。

お手入れ

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

参　考

パソコンを使わずにクリーニングする

- プリントヘッドを全色一括でクリーニングするときは、本製品のリセットボタンを押して行うこともできます。
  1 電源が入っていることを確認する
  2 リセットボタンを押し続け、電源ランプが青色に１回点滅したときに放す
  プリントヘッドのクリーニングが開始されます。電源ランプが点滅したあと青色に点灯すると、クリーニングが終了します。クリーニングが終わったら、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認してください。⇒P.63

Windows

ノズルチェックパターンを印刷したあとに表示される［パターンの確認］ダイアログ（⇒P.65）で［クリーニング］ボタンをクリックした場合は、プリントヘッドのクリーニングが開始されます。後トレイにA4サイズの普通紙を１枚セットして、手順の５の3から行ってください。

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイにA4サイズの普通紙を１枚セットする

重　要

- 前トレイからは、クリーニング終了後にノズルチェックパターンの印刷はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

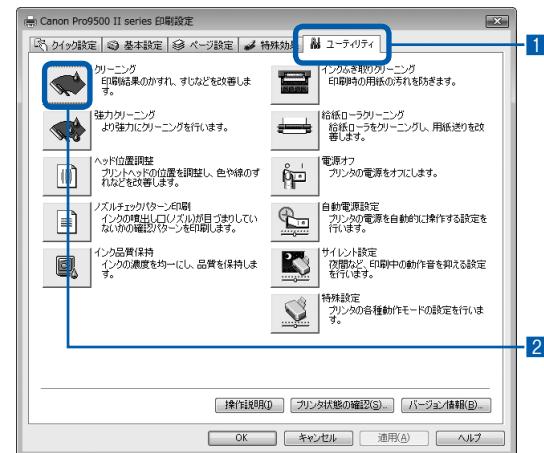
重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4 プリンタドライバの設定画面を開く ⇒P.76

5 プリントヘッドをクリーニングする

1 ［ユーティリティ］タブをクリックする

2 ［クリーニング］をクリックする

3 クリーニングするインクのグループを選ぶ

参　考

- MBK、PBK、GY、PC、PMの部分のいずれかに白い横すじがある場合は［グループ1］、R、G、C、M、Yの部分のいずれかに白い横すじがある場合は［グループ2］を選んでください。
  ノズルチェックパターンについては、「ノズルチェックパターンを確認する」(P.65) を参照してください。

4 ［実行］ボタンをクリックする

電源ランプが青色に点滅するとプリントヘッドのクリーニングが開始されます。
クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約２分かかります。

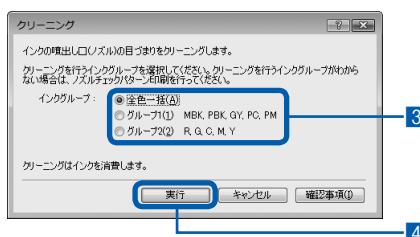
参　考

- ［確認事項］ボタンをクリックすると、クリーニングを行う前の確認事項が表示されます。

5 表示されたメッセージを確認して、［確認パターン印刷］ボタンをクリックする

ノズルチェックパターンが印刷されます。
ノズルチェックパターンの印刷が終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

6 ノズルチェックパターンを確認する ⇒P.65

参　考

- クリーニングを２回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。⇒P.68

Macintosh

ノズルチェックパターンを印刷したあとに表示される［パターンの確認］ダイアログ（⇒P.65）で［クリーニング］ボタンをクリックした場合は、プリントヘッドのクリーニングが開始されます。後トレイにA4サイズの普通紙を１枚セットして、手順の５の3から行ってください。

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイにA4サイズの普通紙を１枚セットする

重　要

- 前トレイからは、クリーニング終了後にノズルチェックパターンの印刷はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

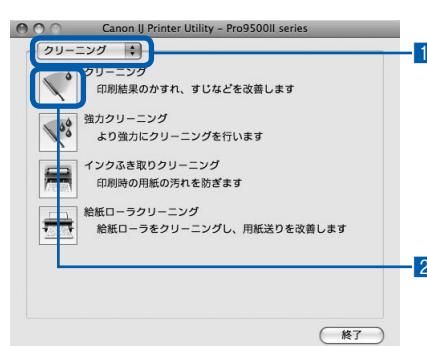
重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4 Canon IJ Printer Utilityを開く ⇒P.76

5 プリントヘッドをクリーニングする

1 ポップアップメニューに［クリーニング］が表示されていることを確認する

2 ［クリーニング］をクリックする

お手入れ

3 クリーニングするインクのグループを選ぶ

参　考

- MBK、PBK、GY、PC、PMの部分のいずれかに白い横すじがある場合は［グループ1］、R、G、C、M、Yの部分のいずれかに白い横すじがある場合は［グループ2］を選んでください。
  ノズルチェックパターンについては、「ノズルチェックパターンを確認する」(P.65）を参照してください。

4 ［実行］ボタンをクリックする

電源ランプが青色に点滅するとプリントヘッドのクリーニングが開始されます。
クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約2分かかります。

参　考

- ［確認事項］ボタンをクリックすると、クリーニングを行う前の確認事項が表示されます。

5 表示されたメッセージを確認して、［確認パターン印刷］ボタンをクリックする

ノズルチェックパターンが印刷されます。
ノズルチェックパターンの印刷が終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

6 ノズルチェックパターンを確認する ⇒P.65

参　考

- クリーニングを2回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。⇒P.68

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙1枚

Windows

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイにA4サイズの普通紙を1枚セットする

重　要

- 前トレイからは、クリーニング終了後にノズルチェックパターンの印刷はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4 プリンタドライバの設定画面を開く ⇒P.76

5 プリントヘッドを強力クリーニングする

1 ［ユーティリティ］タブをクリックする

2 ［強力クリーニング］をクリックする

3 強力クリーニングするインクのグループを選ぶ

参　考

- MBK、PBK、GY、PC、PMの部分のいずれかに白い横すじがある場合は［グループ1］、R、G、C、M、Yの部分のいずれかに白い横すじがある場合は［グループ2］を選んでください。
  ノズルチェックパターンについては、「ノズルチェックパターンを確認する」（P.65）を参照してください。

4 ［実行］ボタンをクリックする

参　考

- ［確認事項］ボタンをクリックすると、強力クリーニングを行う前の確認事項が表示されます。

5 表示されたメッセージを確認して、［OK］ボタンをクリックする

電源ランプが青色に点滅するとプリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。
強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約3分かかります。

6 表示されたメッセージを確認して、［確認パターン印刷］ボタンをクリックする

ノズルチェックパターンが印刷されます。
ノズルチェックパターンの印刷が終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

6 ノズルチェックパターンを確認する ⇒P.65

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。インクタンクの交換については、「交換の操作」（P.56）を参照してください。

改善されない場合は、トップカバーを開け、インクタンクにインクが残っていることを確認し、本製品の電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒P.120

Macintosh

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイにA4サイズの普通紙を1枚セットする

重　要

- 前トレイからは、クリーニング終了後にノズルチェックパターンの印刷はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

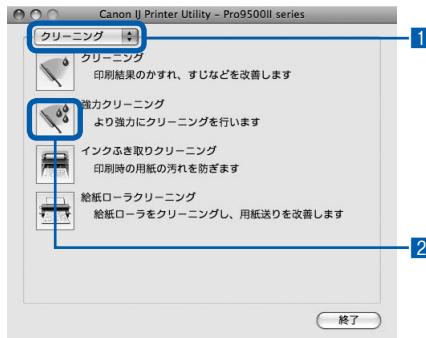
重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4 Canon IJ Printer Utilityを開く ⇒P.76

5 プリントヘッドを強力クリーニングする

1 ポップアップメニューに［クリーニング］が表示されていることを確認する

2 ［強力クリーニング］をクリックする

3 強力クリーニングするインクのグループを選ぶ

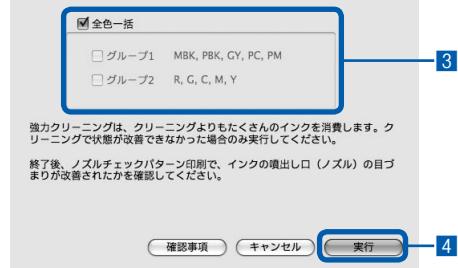
参　考

- MBK、PBK、GY、PC、PMの部分のいずれかに白い横すじがある場合は［グループ1］、R、G、C、M、Yの部分のいずれかに白い横すじがある場合は［グループ2］を選んでください。
  ノズルチェックパターンについては、「ノズルチェックパターンを確認する」（P.65）を参照してください。

4 ［実行］ボタンをクリックする

電源ランプが青色に点滅するとプリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。
強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約3分かかります。

参　考

- ［確認事項］ボタンをクリックすると、強力クリーニングを行う前の確認事項が表示されます。

5 表示されたメッセージを確認して、［確認パターン印刷］ボタンをクリックする

ノズルチェックパターンが印刷されます。
ノズルチェックパターンの印刷が終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

6 ノズルチェックパターンを確認して、［パターンの確認］ダイアログで［終了］ボタンをクリックする ⇒P.65

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。インクタンクの交換については、「交換の操作」（P.56）を参照してください。

改善されない場合は、トップカバーを開け、インクタンクにインクが残っていることを確認し、本製品の電源を切って24時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒P.120

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

用意するもの：A4サイズの普通紙2枚

参　考

パソコンを使わずに調整する

- プリントヘッド位置の調整は、本製品のリセットボタンを押して行うこともできます。
  1 電源が入っていることを確認し、後トレイにA4サイズの普通紙を2枚セットする
  2 前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す
  CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。
  3 リセットボタンを押し続け、電源ランプが青色に4回点滅したときに放す
  プリントヘッド位置調整パターンが印刷され、ヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまではかの操作を行わないでください。

Windows

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイにA4サイズの普通紙を2枚セットする

重　要

- 前トレイからはプリントヘッドの位置調整はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

4 プリンタドライバの設定画面を開く ⇒P.76

5 プリントヘッド位置を調整する

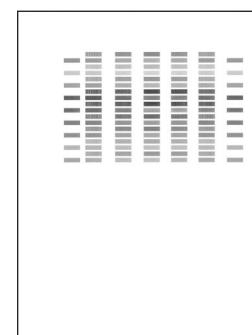
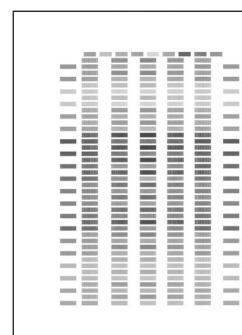
1 ［ユーティリティ］タブをクリックする

2 ［ヘッド位置調整］をクリックする

3 表示されたメッセージを確認して、［ヘッド位置調整］ボタンをクリックする

プリントヘッド位置調整パターンが印刷され、ヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまではかの操作を行わないでください。
印刷が終了するまでに約6分かかります。

お手入れ

参　考

- 自動調整が正しく行えなかった場合は、エラーランプが点滅します。「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「11回 自動ヘッド位置調整に失敗した」（P.82）を参照してください。
- 記載の手順でヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

Macintosh

1 電源が入っていることを確認する

2 後トレイにA4サイズの普通紙を２枚セットする

重　要

- 前トレイからはプリントヘッドの位置調整はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

3 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

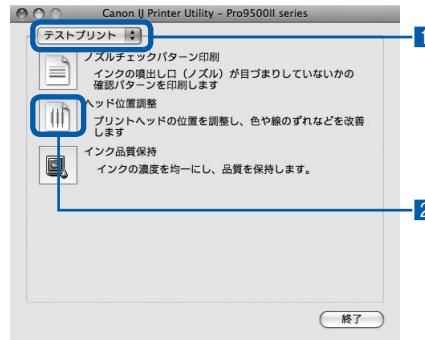
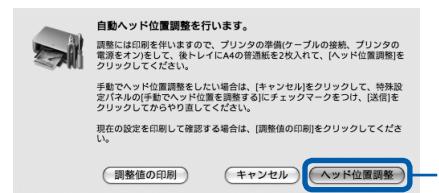
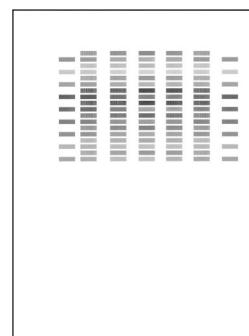
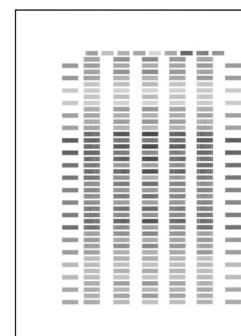
重　要

- CD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてください。

4 Canon IJ Printer Utilityを開く ⇒P.76

5 プリントヘッド位置を調整する

1 ポップアップメニューから［テストプリント］を選ぶ

2 ［ヘッド位置調整］をクリックする

3 表示されたメッセージを確認して、［ヘッド位置調整］ボタンをクリックする

プリントヘッド位置調整パターンが印刷され、ヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。印刷が終了するまでに約6分かかります。

参　考

- 自動調整が正しく行えなかった場合は、エラーランプが点滅します。「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「11回 自動ヘッド位置調整に失敗した」（P.82）を参照してください。
- 記載の手順でヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

インクの品質を保持する

本製品は、インクの濃度を均一に保つため、定期的に自動でインクをかき混ぜる設定になっています。
ただし、自動でインクをかき混ぜる設定をオフにした場合や、印刷結果を見て、インクの濃度にむらがある場合は、以下の操作にしたがって、手動でインクをかき混ぜてください。

参　考

- 自動でインクをかき混ぜる設定をオフにする場合は、『活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の設定を変更する」を参照してください。

Windows

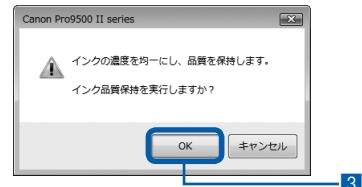
1 電源が入っていることを確認する

2 プリンタドライバの設定画面を開く ⇒P.76

3 インクをかき混ぜる

1 ［ユーティリティ］タブをクリックする

2 ［インク品質保持］をクリックする

3 表示されたメッセージを確認して、［OK］ボタンをクリックする

約10秒～3分間本製品が振動し、インクをかき混ぜます。
本製品の動作中（電源ランプが青色に点滅中）は、トップカバーを開けないでください。

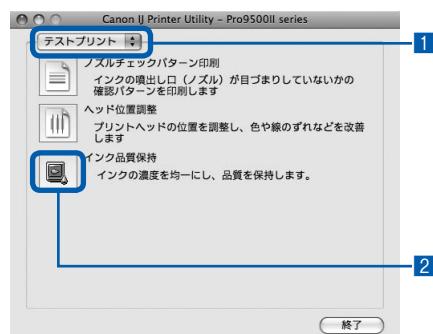
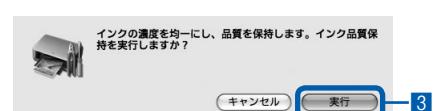
Macintosh

1 電源が入っていることを確認する

2 Canon IJ Printer Utilityを開く ⇒P.76

3 インクをかき混ぜる

1 ポップアップメニューから［テストプリント］を選ぶ

2 ［インク品質保持］をクリックする

3 表示されたメッセージを確認して、［実行］ボタンをクリックする

約10秒～3分間本製品が振動し、インクをかき混ぜます。
本製品の動作中（電源ランプが青色に点滅中）は、トップカバーを開けないでください。

給紙ローラをクリーニングする

給紙ローラに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラのクリーニングを行います。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙３枚

Windows

1 電源が入っていることを確認し、本製品にセットされている用紙をすべて取り除く

2 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

重　要

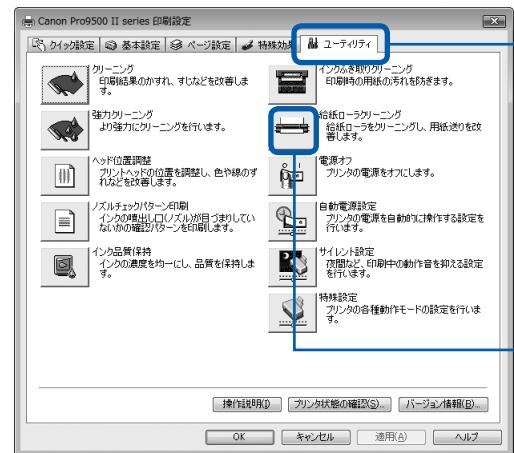
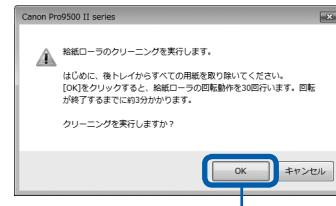
- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

3 プリンタドライバの設定画面を開く

⇒P.76

4 給紙ローラをクリーニングする

1 ［ユーティリティ］タブをクリックする

2 ［給紙ローラクリーニング］をクリックする

3 表示されたメッセージを確認して、［OK］ボタンをクリックする

給紙ローラが回転してクリーニングが開始されます。

5 給紙ローラの回転が停止したことを確認し、メッセージが表示されたら用紙をセットする

後トレイに、A4サイズの普通紙３枚をセットしてください。

重　要

- 前トレイからはクリーニング用の給紙はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

6 ［OK］ボタンをクリックする

セットした用紙が排出されます。
給紙ローラクリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

7 完了のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックする

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.120

Macintosh

1 電源が入っていることを確認し、本製品にセットされている用紙をすべて取り除く

2 前トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを引き出す

前トレイの上部中央を軽く押して、ゆっくり手前に開きます。

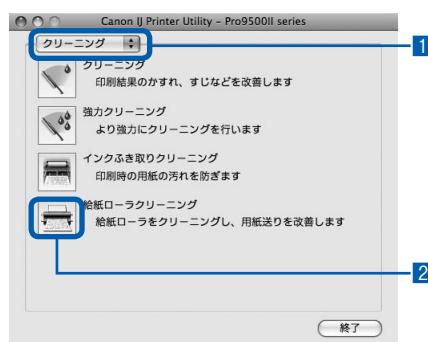
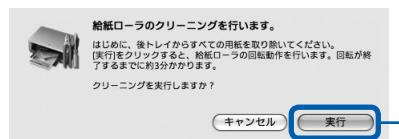
重　要

- CD-Rトレイガイドが開いている場合は、CD-Rトレイガイドを閉じてください。

3 Canon IJ Printer Utilityを開く⇒P.76

4 給紙ローラをクリーニングする

1 ポップアップメニューに［クリーニング］が表示されていることを確認する

2 ［給紙ローラクリーニング］をクリックする

3 表示されたメッセージを確認して、［実行］ボタンをクリックする

給紙ローラが回転してクリーニングが開始されます。

5 給紙ローラの回転が停止したことを確認し、メッセージが表示されたら用紙をセットする

後トレイに、A4サイズの普通紙３枚をセットしてください。

重　要

- 前トレイからはクリーニング用の給紙はできません。必ず後トレイに用紙をセットしてください。

6 [実行]ボタンをクリックする

セットした用紙が排出されます。
給紙ローラクリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.120

メンテナンス画面を表示する

本製品のメンテナンス操作は、プリンタドライバの設定画面（Windows）やCanon IJ Printer Utility画面（Macintosh）を表示して行います。

プリンタドライバの設定画面を表示する（Windows）

1 ［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ

Windows XPをご使用の場合

［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタとFAX］の順に選びます。

Windows 2000をご使用の場合

［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。

2 ［Canon（ご使用の製品名）］アイコンを右クリックし、［印刷設定］を選ぶ

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

参　考

- プリンタドライバの設定画面は、ご使用のアプリケーションソフトやデスクトップ上のマイ プリンタから開くこともできます。
  ⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）

Canon IJ Printer Utility画面を表示する（Macintosh）

Mac OS X v.10.5.xをご使用の場合

1 ［システム環境設定］を開き、［プリントとファクス］を選ぶ

2 ［プリンタ］からご使用の製品名を選び、［プリントキューを開く］をクリックする

プリンタのジョブ一覧が表示されます。

3 ［ユーティリティ］をクリックする

プリンタリストダイアログが表示されます。

4 ［製品］からご使用の製品名を選び、［メンテナンス］ボタンをクリックする

Canon IJ Printer Utilityが起動します。

参　考

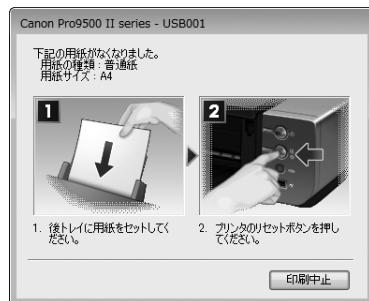
- Mac OS X v.10.4.xまたはMac OS X v.10.3.9をご使用の場合は、［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［ユーティリティ］フォルダ→［プリンタ設定ユーティリティ］の順にダブルクリックしてプリンタリストを開きます。［名前］から本製品を選んで［ユーティリティ］をクリックし、［製品］から本製品を選んで［メンテナンス］ボタンをクリックするとCanon IJ Printer Utilityが起動します。
  ⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）

困ったときには

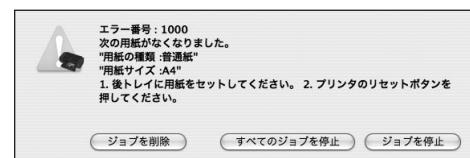
本製品を使用中にトラブルが発生したときは、ここでの対処方法を参照してください。
ここでは発生しやすいトラブルを中心に説明しています。該当するトラブルが見つからないときには、『活用ガイド』(電子マニュアル)をあわせて参照してください。
⇒「『活用ガイド』(電子マニュアル)について」(P.39)

エラーが発生したときは

印刷中に用紙がなくなったり、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すエラーメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法にしたがって操作してください。

Windows

Macintosh

Mac OS X v.10.5.xをご使用の場合

Mac OS X v.10.4.xまたは Mac OS X v.10.3.9をご使用の場合

電源が入らない

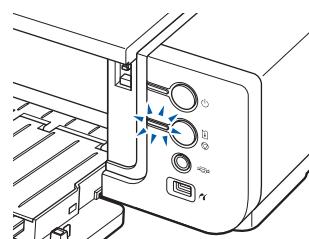
チェック 1　電源ボタンを押してみてください

チェック 2　本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください

チェック 3　電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください

それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.120）

プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している

本製品にエラーが起きると、エラーランプ（オレンジ色）が点滅します。エラーランプの点滅回数を確認し、エラーの対処をしてください。

この点滅回数を数える

エラーランプ（オレンジ色）　●●●　　●●●　繰り返し

参　考

エラーランプがオレンジ色に点灯しているときは

- 前トレイから印刷する準備が完了していません。前トレイに用紙を正しくセットしてから、本製品のリセットボタンを押してください。正しいセット方法については、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照してください。

電源ランプが点滅しているときは

- 本製品を使用していないのに電源ランプが点滅している場合は、内部でインクをかき混ぜています。約10秒〜3分ほどかかります。
⇒「本製品が振動している／本製品を使用していないのに動作音がする」（P.87）

点滅状態／原因	対処方法
2回 **後トレイに用紙がない／ CD-Rトレイがない**	後トレイから印刷する場合は、後トレイに用紙をセットして、本製品のリセットボタンを押してください。 DVD/CDに印刷する場合は、本製品に付属のCD-Rトレイ（Eのマークがあるもの）を使用してください。CD-RトレイにDVD/CDをセットしてから本製品にCD-Rトレイを正しくセットし、本製品のリセットボタンを押してください。 正しいセット方法については「DVD/CDをセットする」（P.33）を参照してください。
3回 **前トレイまたはフロント給紙サポートが閉じている／紙づまり**	前トレイが閉じている場合は、前トレイを開いてください。印刷を再開します。 前トレイからの印刷時にフロント給紙サポートが閉じている場合は、フロント給紙サポートを開いてから、本製品のリセットボタンを押してください。 前トレイ／フロント給紙サポートを開いてもエラーが解除されない場合、または前トレイ／フロント給紙サポートが開いている場合は、用紙がつまっている可能性があります。つまった用紙を取り除き、用紙を正しくセットして本製品のリセットボタンを押してください。 ⇒「用紙がつまった」（P.102）
4回 **インクタンクが正しくセットされていない／インクがなくなった可能性がある**	• インクタンクが正しくセットされていません（インクランプが消灯しています）。 正しいインクタンクをセットしてください。 • インクがなくなった可能性があります。 一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷することをお勧めします。 インクタンクを交換後、トップカバーを閉じると、印刷を再開します。 印刷が完了していない場合は、インクタンクを取り付けたまま本製品のリセットボタンを押すと、インク切れの状態で印刷を続行することができます。印刷が終了したらすぐに新しいインクタンクに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.56） 参 考 • 複数のインクランプが点滅している場合は、「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.60）を参照して、インクタンクの状態を確認してください。
5回 **プリントヘッドが取り付けられていない／プリントヘッドの不良**	『かんたんスタートガイド』の説明に従ってプリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん取り外し、取り付け直してください。 それでもエラーが解決されないときには、プリントヘッドが故障している可能性もあります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.120）

点滅状態／原因	対処方法
6回 **CD-R トレイガイドが開いている／閉じている**	通常の印刷（DVD/CD レーベル印刷以外の印刷）を開始するときにCD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてから本製品のリセットボタンを押してください。 DVD/CD レーベル印刷を開始するときにCD-R トレイガイドが閉じている場合は、CD-R トレイガイドを開きCD-R トレイをセットしてから本製品のリセットボタンを押してください。 印刷中にCD-R トレイガイドを開閉しないでください。故障の原因になります。
7回 **インクタンクが正しい位置にセットされていない**	• 正しい位置にセットされていないインクタンクがあります（インクランプが点滅しています）。 • 同じ色のインクタンクが複数セットされています（インクランプが点滅しています）。 各色のインクタンクの取り付け位置に、正しいインクタンクがセットされていることを確認してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.56）
8回 **インク吸収体が満杯になりそう**	インク吸収体が満杯に近づいています。 本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、本製品のリセットボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めに修理受付窓口へ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.120）
9回 **デジタルカメラとの通信が応答のないまま一定の時間が経過している／本製品で対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている**	• カメラ接続部に接続している機器を確認してください。本製品と接続して直接印刷できるのは、PictBridge 対応機器です。 • 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できないことがあります。接続しているUSB ケーブルを抜き、再度USB ケーブルを接続してください。 PictBridge 対応機器から印刷する場合、ご使用のデジタルカメラの機種により、接続する前にPictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。 それでもエラーが解決されないときは、ほかの写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。
10回 **前トレイが正しい位置にセットされていない／印刷中に前トレイを動かした**	後トレイから印刷する場合は、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照して、前トレイを標準の印刷位置に戻し、後トレイに用紙がセットされていることを確認してから、本製品のリセットボタンを押してください。印刷を再開します。 印刷中に前トレイを動かした場合は、前トレイを正しい位置に戻し、本製品のリセットボタンを押して、印刷し直してください。印刷中に前トレイを動かさないでください。

点滅状態／原因	対処方法
11回 **自動ヘッド位置調整に失敗した／用紙サイズの設定が印刷する用紙の幅と合っていない**	**自動ヘッド位置調整をしていた場合：** • ノズルが目づまりしています。 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除し、ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。 ⇒「お手入れ」の「ノズルチェックパターンを印刷する」（P.63） • A4サイズ以外の用紙がセットされています。 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除し、A4サイズの普通紙2枚を後トレイにセットしてください。 前トレイからはプリントヘッドの位置調整はできません。必ず後トレイへ用紙をセットしてください。 • 本製品の排紙口内に強い光が当たっています。 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除し、排紙口内に光が当たらないように調整してください。 上記の対策をとったあと、再度ヘッド位置調整を行ってもエラーが解決されないときには、本製品のリセットボタンを押してエラーを解除したあと、手動でヘッド位置調整を行ってください。 ⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」 **ノズルチェックパターンの印刷／手動ヘッド位置調整をしていた場合：** A4サイズ以外の用紙がセットされています。 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除し、後トレイにA4サイズの普通紙をセットしてから、操作をやり直してください。 **通常の印刷をしていた場合：** • 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、プリンタドライバの［ページ設定］シート（Windows）またはページ設定ダイアログ（Macintosh）で［用紙サイズ］の設定を確認し、設定と同じサイズの用紙をセットしてから、印刷し直してください。 • 設定と同じサイズの用紙をセットしていても、このエラーが発生する場合は、プリンタドライバで用紙の幅を検知しない設定にしてください。 ⇒「印刷が始まらない」の「チェック 9 プリンタドライバの［用紙サイズ］の設定が、本製品にセットした用紙のサイズに合っていますか」（P.98）
12回 **前トレイに用紙を正しくセットしていない／印刷中にインクタンクを交換した**	**前トレイから印刷する場合：** 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）に従って、前トレイに用紙を正しくセットしてから、印刷し直してください。 **印刷中にインクタンクを交換した場合：** 本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。印刷が再開されます。
14回 **インクタンクが認識できない**	本製品がサポートできないインクタンクが取り付けられています（インクランプが消灯しています）。 正しいインクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.56）

点滅状態／原因	対処方法
15回 **インクタンクが認識できない**	インクタンクにエラーが発生しました（インクランプが消灯しています）。 インクタンクを交換してください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.56）
17回 **インクなしを検知した**	インクなしを検知しました（インクランプが点滅しています）。 インクが混ざるなどの印字不良を防ぐために、インクタンク内のインク残量が品質保持に必要な量を下回るとエラーランプをオレンジ色に17回点滅させて印刷を停止する設計になっています。 一旦印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を開始してください。 参　考 • 複数のインクランプが点滅している場合は、点滅の速度を確認してください。 はやく点滅（約1秒間隔）している場合はインクがなくなっています。 ゆっくり点滅（約3秒間隔）している場合はインクが少なくなっています。点滅速度の違いについては、「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.60）を参照してください。
18回 **インクなしを検知した**	インクなしを検知しました（インクランプが点滅しています）。 印刷を続行する場合は、インクタンクを交換してトップカバーを閉じてください。 新しいインクタンクがない場合は、［印刷中止］（Windows）、または［ジョブを停止］（Macintosh）をクリックして、一旦印刷を中止してください。 印刷を再開する前に必ずインクタンクを交換してください。 インク切れの状態で印刷を続行することもできますが、インクが混ざるなどの印字不良や、本製品の故障の原因となるおそれがあります。 印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。無効にする場合は、本製品のリセットボタンを5秒以上押してから離してください。 ※この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。印刷の続行またはインクの補充が原因の故障についてはキヤノンは責任を負いかねます。 参　考 • Macintoshでは印刷を停止するボタン名が、ご使用のOSのバージョンにより異なります。 • 複数のインクランプが点滅している場合は、点滅の速度を確認してください。 はやく点滅（約1秒間隔）している場合はインクがなくなっています。 ゆっくり点滅（約3秒間隔）している場合はインクが少なくなっています。点滅速度の違いについては、「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.60）を参照してください。 • インク残量検知機能を無効にすると、プリンタ状態の確認画面（Windows）またはCanon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）（Macintosh）でインクの残量が正しく表示されません。 ⇒「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.60）

点滅状態／原因	対処方法
19回 USBハブが接続されている	本製品のカメラ接続部にUSBハブを接続している場合は、USBハブを本製品から取り外してください。PictBridge対応機器は直接本製品に接続してください。

プリンタの電源ランプとエラーランプが交互に点滅している

プリンタトラブルが発生しました。
パソコンと接続しているケーブルを外し、本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
本製品の電源を入れ直してみてください。
それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.120）

プリンタドライバがインストールできない

『セットアップCD-ROM』をDVD/CD-ROMドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：

Windows

次の手順に従ってインストールを開始してください。

1 **［スタート］メニューから［コンピュータ］を開く**
【Windows XP】［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を開く
【Windows 2000】デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする

2 **開いたウィンドウにある［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする**
CD-ROMの内容が表示された場合は、［MSETUP4.EXE］をダブルクリックしてください。

Macintosh

画面上に表示された［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする

参考

- CD-ROMのアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  －CD-ROMをパソコンから取り出して、再度セットする
  －パソコンを再起動する
- それでも［CD-ROM］アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかのCD-ROMを表示できるか確認してください。ほかのCD-ROMが表示できる場合は、『セットアップCD-ROM』に異常があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.120）

［プリンタの接続］画面で止まってしまうとき：

［プリンタの接続］画面から先に進めなくなった場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認し、次の手順に従ってインストールをやり直してください。

参　考

- Windows Vistaをご使用の場合、ご使用のパソコンによっては、［プリンタを認識していません。接続を確認してください。］というメッセージが表示されることがあります。その場合は、しばらくお待ちください。しばらく待っても先に進めない場合は、次の操作に従ってインストールをやり直してください。

1　［キャンセル］ボタンをクリックする
2　［インストール失敗］画面で［もう一度］ボタンをクリックする
3　表示された画面で［戻る］ボタンをクリックする
4　［PIXUS XXX］画面（「XXX」は製品名）で［終了］ボタンをクリックし、『セットアップCD-ROM』を取り出す
5　本製品の電源を切る
6　パソコンを再起動する
7　ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
8　『かんたんスタートガイド』に記載されている手順に従って、プリンタドライバをインストールする

それ以外のとき：

『かんたんスタートガイド』に記載されている手順に従い、プリンタドライバをインストールし直してください。
プリンタドライバが正しくインストールされなかった場合は、プリンタドライバを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、プリンタドライバを再インストールしてください。
⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったプリンタドライバを削除する」

プリンタドライバを再インストールする場合は『セットアップCD-ROM』から［選んでインストール］を選んでインストールしてください。

参　考

Windows

- Windowsのエラーが原因でインストーラが強制終了した場合は、Windowsが不安定になっている可能性があり、プリンタドライバがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

Easy-PhotoPrint Proを起動できない（メニューが表示されない）

Easy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）をインストールしても、Adobe PhotoshopのメニューにEasy-PhotoPrint Proが表示されない場合、Adobe Photoshopが終了していることを確認して、下記の手順でPhotoshopプラグインをインストールしてください。

Windows

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint Pro］→［Photoshop プラグインインストーラー］を順に選ぶ

2 メッセージに従ってインストールする

Macintosh

1 ［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［Canon Utilities］フォルダ、［Easy-PhotoPrint Pro］フォルダ、［Plug-In Installer］アイコンを順にダブルクリックする

2 メッセージに従ってインストールする

参　考

- Adobe Photoshopを一度も起動していない場合、Photoshopプラグインはインストールされません。

印刷速度が遅い／ Hi-Speed USBとして動作しない／ Windows「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される

Hi-Speed USBに対応していない環境では、USB 1.1での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。

チェック **ご使用の環境がHi-Speed USBに対応しているか、次の点を確認してください**

- パソコンのUSBポートは、Hi-Speed USBに対応していますか。
- USBケーブルとUSBハブは、Hi-Speed USBに対応していますか。
  USBケーブルは、必ずHi-Speed USB認証ケーブルをご使用ください。また、長さ3m以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USBに対応した状態ですか。
  最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB対応のUSBドライバが正しく動作していますか。
  Hi-Speed USBに対応した最新のHi-Speed USBドライバを入手して、再インストールしてください。

重　要

- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USBケーブル、USBハブのメーカーにご確認ください。

本製品が振動している／本製品を使用していないのに動作音がする

チェック **振動が止まるまでお待ちください**

電源ランプが青色に点滅し、本製品が振動している場合は、内部でインクをかき混ぜています。
本製品ではインクの濃度を均一に保つため、定期的に自動でインクをかき混ぜる自動インク品質保持機能が設定されています。インクがかき混ぜられている間、多少の振動や騒音が起こります。故障ではありませんので、電源ランプが点滅から点灯に変わり、振動が止まるまでお待ちください。
本製品の動作中（電源ランプが青色に点滅中）は、トップカバーを開けないでください。
なお、深夜などで振動や騒音が気になる場合は、プリンタドライバで自動インク品質保持機能をオフにすることもできます。自動インク品質保持機能をオフにした場合は、必ずオンに戻してください。
⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の設定を変更する」

重　要

- 自動インク品質保持機能は通常オンにしてご使用ください。インク品質保持を週1回程度行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。
  自動インク品質保持機能をオフにした場合は、週1回程度手動でインク品質保持を実行してください。
  ⇒「インクの品質を保持する」（P.73）

印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

チェック 1　セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。
写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくないことがあります。
また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。
フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。
用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

PictBridge対応機器から印刷する場合	PictBridge対応機器 ⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「PictBridge対応機器から印刷する」
パソコンから印刷する場合	プリンタドライバ ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.20）、「文書を印刷する（Macintosh）」（P.23）

チェック 2　チェック 1 の表を参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

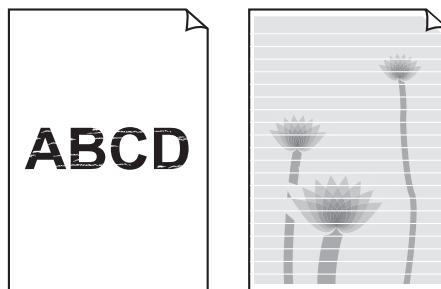
用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

参　考

- PictBridge対応機器からは印刷品質の設定はできません。

チェック 3　それでも解決しない場合は、他の原因が考えられます

以下の項目もあわせて確認してください。
⇒「白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る」（P.89）
⇒「罫線がずれる」（P.91）
⇒「インクがにじむ／用紙が反る」（P.91）
⇒「印刷面が汚れる／こすれる」（P.92）
⇒「用紙の裏面が汚れる」（P.95）
⇒「色むらや色すじがある」（P.95）

白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る

チェック 1 **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「印刷結果に満足できない」（P.88）

チェック 2 **インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください**

⇒「インクタンクを交換する」（P.56）

チェック 3 **ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.62）を参照してください。

チェック 4 **片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください**

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。
用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 5　自動インク品質保持の設定がオフになっていませんか

自動インク品質保持機能がオフになっていると、インクタンクの中のインクが分離して、インクの濃度にむらが発生する場合があります。プリンタドライバで自動インク品質保持機能をオンにしてください。

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の設定を変更する」

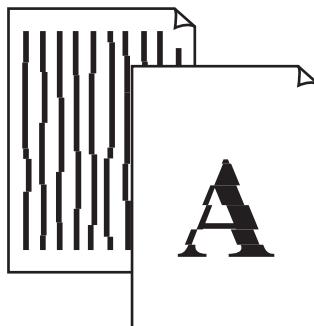
重　要

- 自動インク品質保持機能は通常オンにしてご使用ください。インク品質保持を週 1 回程度行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。
- 自動インク品質保持機能をオフにした場合は、週 1 回程度手動でインク品質保持を実行してください。
  ⇒「インクの品質を保持する」（P.73）

チェック 6　プリンタドライバの入力プロファイルが正しく設定されていますか

Adobe RGB モードで撮影した写真などが思ったような色味で印刷されない場合、入力プロファイルを設定してから印刷すると、色味が改善されることがあります。

1. **プリンタドライバの設定画面を開く**
   ⇒「プリンタドライバの設定画面を表示する（Windows）」（P.76）
2. **［基本設定］シートの［色 / 濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定］ボタンをクリックする**
3. **［マッチング］シートの［色補正］で［ICM］を選ぶ**
4. **［入力プロファイル］から［Adobe RGB（1998）］を選ぶ**
   ［Adobe RGB（1998）］が表示されない場合は、『セットアップCD-ROM』から［選んでインストール］を選んで、Adobe RGB（1998）をインストールしてください。

罫線がずれる

チェック 1 **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「印刷結果に満足できない」（P.88）

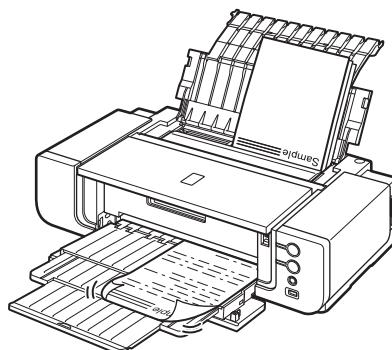
チェック 2 **プリントヘッドの位置調整を行ってください**

プリントヘッドの取り付け位置がずれていると、罫線がずれて印刷される場合があります。プリントヘッドを取り付けたあとは、必ず位置調整を行ってください。

⇒「お手入れ」の「プリントヘッド位置を調整する」（P.71）

参 考

• ヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、『活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

インクがにじむ／用紙が反る

チェック 1 **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「印刷結果に満足できない」（P.88）

チェック 2 **写真を印刷するとき、写真専用紙を使用していますか**

写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、写真専用紙を使用することをお勧めします。

⇒「用紙をセットする」の「使用できる用紙について」（P.50）

印刷面が汚れる／こすれる

用紙の端が汚れる

用紙の端以外が汚れる

チェック 1　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「印刷結果に満足できない」（P.88）

チェック 2　**適切な用紙を使用していますか、次のことを確認してください**

- ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。
  ⇒「用紙をセットする」の「使用できる用紙について」（P.50）
- フチなし全面印刷を行っている場合は、ご使用の用紙がフチなし全面印刷に適した用紙か確認してください。
  フチなし全面印刷に適さない用紙を使用すると、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。
  ⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

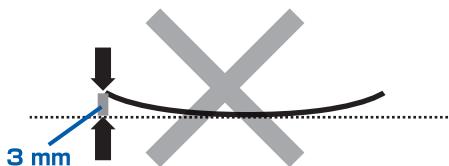
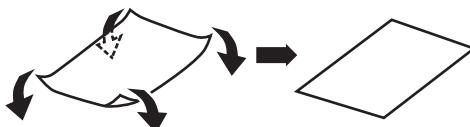
チェック 3　**反りのある用紙は、反りを直してから使用してください**

キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま１枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

普通紙の場合

用紙の裏表を逆にしてセットしてください。
後トレイに用紙を長期間セットしたままにしていると、若干反りがついてしまうことがあります。この場合、裏表を逆にしてセットすると、改善されることがあります。
なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

はがきの場合

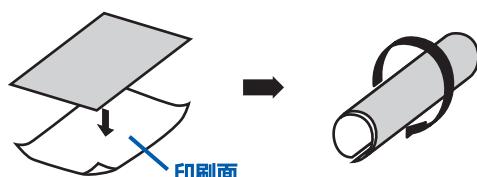
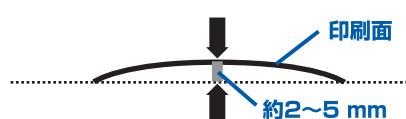
用紙の四隅が3mm以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。

1　下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める

2　印刷する用紙が、平らになっていることを確認する

反りを修正した用紙は、１枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送られないことがあります。次の手順で反りを修正してから使用してください。

その他の用紙の場合

1　印刷面を上にし、表面が汚れたり傷つくことを防ぐために、印刷しない普通紙などを１枚重ねる

2　下の図のように反りと逆方向に丸める

3　印刷する用紙の反りが、約２～5mm以内になっていることを確認する

反りを直した用紙は、１枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参　考

印刷したときに反ってしまう用紙の場合

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、上記の「その他の用紙の場合」と同様の手順で、印刷する前にあらかじめ用紙を丸めてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。

チェック 4 厚めの用紙を使用している場合は、用紙のこすれを改善する設定にしてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、プリンタドライバで用紙のこすれを改善する設定にしてください。
* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

Windows

プリンタドライバの設定画面を開き、[ユーティリティ]シートの[特殊設定]で[用紙のこすれを改善する]にチェックマークを付け、[送信]ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバの設定画面の開きかたについては「プリンタドライバの設定画面を表示する(Windows)」(P.76)を参照してください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility(キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ)のポップアップメニューから[特殊設定]を選び、[用紙のこすれを改善する]にチェックマークを付け、[送信]ボタンをクリックしてください。
Canon IJ Printer Utilityの開きかたについては「Canon IJ Printer Utility画面を表示する(Macintosh)」(P.76)を参照してください。

チェック 5 ボード紙や特に厚い用紙(厚さ0.6mm ～ 1.2mm)に印刷する場合は、プリンタドライバの[用紙の種類]で[ボード紙]を選んでください

[ボード紙]以外に設定すると印刷面のこすれや、故障の原因となるおそれがあります。また、厚さ1.2mmを超える用紙は使用できません。

チェック 6 印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。
アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。
⇒『活用ガイド』(電子マニュアル)の「印刷できる範囲」

チェック 7 給紙ローラが汚れていませんか

給紙ローラクリーニングを行ってください。
⇒「給紙ローラをクリーニングする」(P.74)

参 考

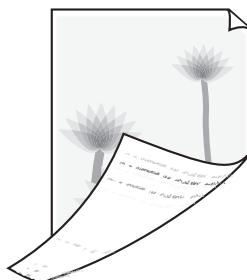
- 給紙ローラクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック 8 本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。
インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。
⇒『活用ガイド』(電子マニュアル)の「本製品内部をクリーニングする」

参 考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

用紙の裏面が汚れる

チェック 1　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「印刷結果に満足できない」（P.88）

チェック 2　**インクふき取りクリーニングを行って、本製品の内部を清掃してください**

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品内部をクリーニングする」

参　考

- 両面印刷や多量に印刷を行うと、本製品の内部が汚れることがあります。

色むらや色すじがある

チェック 1　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「印刷結果に満足できない」（P.88）

チェック 2　**ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.62）を参照してください。

チェック 3　プリントヘッドの位置調整を行ってください

⇒「お手入れ」の「プリントヘッド位置を調整する」（P.71）

参　考

- ヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、『活用ガイド』（電子マニュアル）の「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。

チェック 4　自動インク品質保持の設定がオフになっていませんか

自動インク品質保持機能がオフになっていると、インクタンクの中のインクが分離して、インクの濃度にむらが発生する場合があります。プリンタドライバで自動インク品質保持機能をオンにしてください。

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の設定を変更する」

重　要

- 自動インク品質保持機能は通常オンにしてご使用ください。インク品質保持を週１ 回程度行わないと、印刷結果に影響が出る場合があります。
- 自動インク品質保持機能をオフにした場合は、週１ 回程度手動でインク品質保持を実行してください。
⇒「インクの品質を保持する」（P.73）

チェック 5　モノクロ印刷をしている場合は、次の操作を行ってください。

モノクロ印刷をすると、画像によっては用紙の上端部分や下端部分に色むらや白いすじなどが発生する場合があります。この場合は、『セットアップCD-ROM』に付属のEasy-PhotoPrint Pro（イージー・フォトプリント・プロ）やご使用のレイアウトソフトを使って、用紙の印刷方向に対して上端部分、下端部分とも45 mm以上の余白を空けて印刷することをお勧めします。

Easy-PhotoPrint Proを使って余白を空ける場合は、『デジタルフォト印刷ガイド』（電子マニュアル）の「モノクロで印刷する」の「Easy-PhotoPrint Proからモノクロ写真を印刷する」の手順に従って印刷してください。

余白を空けたくない場合は、写真編集ソフトなどを使ってモノクロ画像に変換してから、プリンタドライバの［基本設定］シート（Windows）、またはプリントダイアログの［品位と用紙の種類］（Macintosh）で、［モノクロ印刷］のチェックマークを外して印刷してください。モノクロ画像に変換したあとで『セットアップCD-ROM』に付属のEasy-PhotoPrint Proを使って印刷する場合は、［モノクロ写真］のチェックマークを外してください。モノクロ画像に変換して印刷したときは、プリンタドライバやEasy-PhotoPrint Proを使ってモノクロ印刷をした場合と比べてグレーバランスが異なることがあります。

印刷が始まらない

チェック 1　電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参　考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが青色に点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック 2　インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合はインクタンクを交換してください

チェック 3　トップカバーを開け、インクランプが赤く点滅していないか確認してください

インクが十分あるのにインクランプが赤く点滅している場合は、正しい位置にセットされていないインクタンクがあります。
⇒「インクタンクを交換する」（P.56）

チェック 4　トップカバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください

インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上のPUSH部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。

チェック 5　しばらく本製品の電源を入れていなかったときは、印刷が始まるまでに時間がかかる場合があります

印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。
電源を入れたあと本製品が振動している場合は、内部でインクをかき混ぜています。振動が止まるまでお待ちください。
⇒「本製品が振動している／本製品を使用していないのに動作音がする」（P.87）

チェック 6　本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

チェック 7　パソコンから印刷した場合、パソコンを再起動してみてください

不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。
⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になった印刷ジョブを削除する」

チェック 8　CD-R トレイガイドが開いていないか確認してください

開いている場合は閉じて、本製品のリセットボタンを押してください。

チェック 9　プリンタドライバの［用紙サイズ］の設定が、本製品にセットした用紙のサイズに合っていますか

本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、プリンタドライバの［ページ設定］シート（Windows）またはページ設定ダイアログ（Macintosh）で［用紙サイズ］の設定を確認し、設定と同じサイズの用紙をセットしてから、印刷し直してください。
設定と同じサイズの用紙をセットしていても、印刷が始まらない場合は、プリンタドライバで用紙の幅を検知しない設定にしてください。
* 印刷後は［用紙の幅を検知する］のチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。

Windows

［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［用紙の幅を検知する］のチェックマークを外し、［送信］ボタンをクリックしてください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）の［特殊設定］で［用紙の幅を検知する］のチェックマークを外し、［送信］ボタンをクリックしてください。

なお、［用紙の幅を検知する］の設定は、プリンタドライバ側で一度チェックを外すとデジタルカメラから直接印刷したときにも無効になります。

チェック 10　プリンタドライバの［用紙の種類］と［用紙サイズ］が正しく選ばれていますか

アート紙、およびキヤノン純正紙以外の特殊な用紙を使用する場合は、［用紙の種類］でそれぞれの用紙の種類を選び、［用紙サイズ］でアート紙専用の用紙サイズを選ぶ必要があります。
以下の手順で設定を確認してから、印刷し直してください。

1. **アプリケーションソフトの用紙サイズで、アート紙専用の用紙サイズが選ばれていることを確認する**
   使用したい用紙サイズが表示されない場合は、アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］（Windows）、または［プリント］（Macintosh）を選び、ご使用の製品が選ばれていることを確認してください。
2. **プリンタドライバの［基本設定］シート（Windows）、またはプリントダイアログの［品位と用紙の種類］（Macintosh）の［用紙の種類］が正しく設定されていることを確認する**
3. **プリンタドライバの［ページ設定］シート（Windows）、またはページ設定ダイアログ（Macintosh）の［用紙サイズ］で、手順 1 で設定したサイズと同じ用紙サイズを選んでいるか確認する**

チェック 11　プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の製品名が選ばれていることを確認してください

異なる製品のプリンタドライバを使用していると、正常に印刷できません。
Windowsをご使用の場合は、［印刷］ダイアログで［Canon XXX］（「XXX」は製品名）が選ばれていることを確認してください。
Macintoshをご使用の場合は、プリントダイアログの［プリンタ］でご使用の製品名が選ばれていることを確認してください。

参考

- 本製品を［通常使うプリンタに設定］（Windows）、［デフォルトのプリンタ］または［デフォルトにする］（Macintosh）にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

Windows

チェック 12　プリンタポートを正しく設定してください

プリンタポートとして「USBnnn」を設定してください（“n”は数字）。

1. **管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする**
2. **［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ**
   Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順に選びます。
   Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。
3. **［Canon XXX］アイコン（「XXX」は製品名）を右クリックし、［プロパティ］を選ぶ**
4. **［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX］と表示されている［USBnnn］（“n”は数字）が選ばれているか確認する**
   設定が誤っている場合は、プリンタドライバを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。

印刷が途中で止まる

チェック　通常の印刷（DVD/CDレーベル印刷以外の印刷）中にCD-Rトレイガイドを開いていませんか

CD-Rトレイガイドを閉じてから、本製品のリセットボタンを押してください。
エラーが発生したときに本製品に送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。

動作はするがインクが出ない

チェック 1　プリントヘッドが目づまりしていませんか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.62）を参照してください。

チェック 2　インクがなくなっていませんか

トップカバーを開け、インクランプの状態を確認してください。
⇒「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.60）

プリントヘッドホルダが交換位置に移動しない

チェック 1　電源ランプが消えていませんか

電源ランプが青色に点灯していることを確認してください。
電源が入っていないとプリントヘッドホルダは移動しません。電源ランプが消灯している場合は、トップカバーを閉じて電源を入れてください。
電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わってから、もう一度トップカバーを開けてください。

チェック 2　エラーランプが点滅していませんか

トップカバーをいったん閉じ、表示されたエラーランプの点滅回数を確認してエラーの対処をしてから、開いてください。対処方法については、「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」（P.79）を参照してください。

チェック 3　前トレイからの印刷の準備中（フロント給紙ボタンがはやく点滅しているとき）の場合は、いったんトップカバーを閉じ、フロント給紙ボタンを押して、フロント給紙ボタンが点滅から点灯に変わってから、もう一度トップカバーを開けてください

前トレイからの印刷の準備中（フロント給紙ボタンがはやく点滅しているとき）は、プリントヘッドホルダが交換位置に移動しない場合があります。その場合は、いったんトップカバーを閉じ、フロント給紙ボタンを押して、フロント給紙ボタンが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。もう一度トップカバーを開け、ホルダを交換位置に移動させてください。
インクタンクを交換したあと、引き続き前トレイから印刷する場合は、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照してください。

参　考

- 印刷の途中でトップカバーを開けてしまうと、プリントヘッドホルダは右側へ移動してしまいます。トップカバーをいったん閉じ、印刷の動作が終了してから開けてください。

用紙がうまく送られない

チェック 1　次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、用紙ガイドの積載マークを超えないようにしてください。
  ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 後トレイ、前トレイとも、印刷の向きにかかわらず縦向きにセットしてください。
- 後トレイに用紙をセットするときは、印刷したい面を上にして、用紙を後トレイの右端に合わせ、用紙ガイドを用紙の左端に軽く当ててください。
- 前トレイに用紙をセットするときは、1枚ずつ印刷したい面を上にして、前トレイの に合うように用紙を挿入し、前トレイの右端にまっすぐ合わせてください。

⇒「用紙をセットする」（P.42）

チェック 2　厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

⇒「用紙をセットする」の「使用できない用紙について」（P.54）

チェック 3　キヤノン純正紙以外のアート紙をご使用の場合、紙の重さが200g/m^{2}を超えていないか確認してください

用紙の重さによっては、後トレイから印刷できません。用紙のパッケージを確認して、重さ200g/m^{2}を超える用紙の場合は、前トレイにセットしてください。

チェック 4　はがきをセットする場合は、次のことに注意してください

はがき、往復はがきが反っていると積載マークを超えてセットしていなくても、うまく送られないことがあります。
はがき、往復はがきは、郵便番号欄を下向きにセットしてください。

チェック 5　前トレイに異物がある場合は取り除いてください

チェック 6　後トレイに異物が入っていないか確認してください

チェック 7　CD-R トレイガイドが閉じていることを確認してください

少しでも開いていると用紙がうまく送られません。

⇒「DVD/CDをセットする」（P.33）

チェック 8　給紙ローラクリーニングを行ってください

⇒「給紙ローラをクリーニングする」（P.74）

参　考

- 給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

Windows プリンタドライバで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない

チェック　アプリケーションソフトで、プリンタドライバと異なる給紙位置を指定していませんか

アプリケーションソフトの設定をプリンタドライバの設定に合わせるか、プリンタドライバの［ページ設定］シートにある［印刷オプション］で［アプリケーションソフトの給紙設定を無効にする］を選択してください。
アプリケーションソフトで、プリンタドライバと異なる設定をした場合は、アプリケーションソフトの設定が優先されます。
⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷オプションの設定を変更する」

用紙がつまった

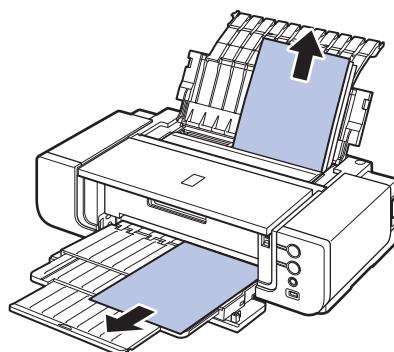
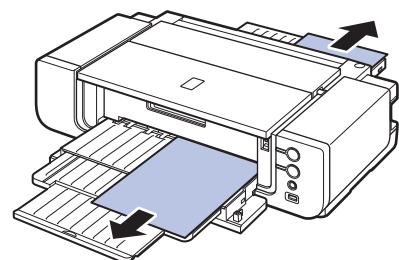
参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、リセットボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

後トレイ／前トレイ／フロント給紙サポートで用紙がつまったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1　後トレイ、前トレイ、または本製品の背面の引き出しやすい方から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

後トレイから給紙した場合

前トレイから給紙した場合

参考

- 用紙が破れて本製品の内部に残ってしまったときは、本製品の電源を切り、トップカバーを開けて取り除いてください。
  このとき、本製品の内部の部品に触れないように注意してください。
  用紙を取り除いたら、トップカバーを閉じて本製品の電源を入れ直してください。
- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。

2 用紙をセットし直し、本製品のリセットボタンを押す

後トレイから印刷する場合は、用紙ガイドを正しい位置に合わせてください。用紙ガイドを正しい位置に合わせていないと、正しく給紙されないことがあります。
手順1で電源を入れ直した場合、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参 考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
⇒「用紙をセットする」(P.42)
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷はA5サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」(P.120)

それ以外のとき：

次のことを確認してください。

チェック 1 **排紙口付近に異物はありませんか**

チェック 2 **後トレイに異物は入っていませんか**

チェック 3 **反りのある用紙を使用していませんか**

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「チェック 3 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」(P.92)

パソコンの画面にメッセージが表示されている

Windows DVD/CD印刷に関するエラーメッセージが表示されている

チェック 1　CD-R トレイを正しくセットしましたか

CD-R トレイガイドを開いて、CD-R トレイを正しくセットし直し、本製品のリセットボタンを押してください。
CD-R トレイは、本製品に付属のCD-R トレイ（Eのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする」（P.33）を参照してください。

チェック 2　CD-R トレイにDVDまたはCDをセットしましたか

CD-R トレイにDVDまたはCDをセットし、本製品のリセットボタンを押してください。
CD-R トレイは、本製品に付属のCD-R トレイ（Eのマークがあるもの）を使用してください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする」（P.33）を参照してください。

チェック 3　認識できないDVDまたはCDをセットしている可能性があります

推奨するDVDまたはCDのご使用をお勧めします。

参　考

- 推奨するDVD/CDの最新情報については、次のサイトをご覧ください。
  ⇒canon.jp/support
  推奨するDVD/CDの情報は不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。

チェック 4　すでに印刷してあるDVDまたはCDをセットしていませんか

すでに印刷してあるDVDまたはCDに印刷しようとすると、CD-R トレイが排出されることがあります。
その場合は、プリンタドライバの設定を変更し、もう一度印刷してください。
⇒「CD-R トレイがうまく送られない」の「チェック 3 すでに印刷してあるDVDまたはCDをセットしていませんか」（P.114）

チェック 5　通常の印刷（DVD/CD印刷以外の印刷）を開始するとき、または印刷中にCD-R トレイガイドが開いていませんか

CD-R トレイガイドを閉じてから、本製品のリセットボタンを押してください。
印刷中にCD-R トレイガイドを開閉しないでください。破損の原因になります。

「エラー番号：B200　プリンタトラブルが発生しました。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理受付窓口へ修理をご依頼ください」が表示されている

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.120）

「エラー番号：****　プリンタトラブルが発生しました。プリンタの電源を切り、もう一度電源を入れてください。エラーが解除されないときは、プリンタの取扱説明書を参照してください」が表示されている

「****」部分は半角英数字で表示され、表示が異なります。

- 「5100」または「5110」と表示された場合
  プリントヘッドホルダの動きが妨げられていないか確認してください。
  パソコンで印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、プリントヘッドホルダの保護材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除き、本製品の電源を入れ直してください。

重　要

- このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印刷結果不具合などの原因となります。
- それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.120）

- ４桁の英数字と「プリンタトラブルが発生しました」が表示された場合
  本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  それから、本製品の電源を入れ直してみてください。
  それでも回復しない場合は、パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口に修理をご依頼ください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.120）

後トレイ／前トレイに関するエラーが表示されている

チェック 1　前トレイから印刷する準備が完了していますか

前トレイに用紙を正しくセットしてから、本製品のリセットボタンを押してください。
正しいセット方法については、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照してください。

チェック 2　プリンタドライバで後トレイから給紙できない用紙サイズを選んでいませんか

以下の手順で給紙箇所を正しく設定し、印刷し直してください。

Windows

表示されるダイアログで［印刷中止］をクリックし、プリンタドライバの［基本設定］シートの［給紙方法］で［前トレイ］を選んでください。前トレイに用紙をセットしてから、印刷し直してください。

Macintosh

表示されるダイアログで［ジョブを削除］をクリックし、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］の［給紙方法］で［前トレイ］を選んでください。前トレイに用紙をセットしてから、印刷し直してください。

チェック 3　プリンタドライバで前トレイからの印刷に対応していない用紙サイズを選んでいませんか

以下の手順で給紙箇所を正しく設定し、印刷し直してください。

Windows

表示されるダイアログで［印刷中止］をクリックし、プリンタドライバの［基本設定］シートの［給紙方法］で［後トレイ］を選んでください。後トレイに用紙をセットしてから、印刷し直してください。

Macintosh

表示されるダイアログで［ジョブを削除］をクリックし、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］の［給紙方法］で［後トレイ］を選んでください。後トレイに用紙をセットしてから、印刷し直してください。

チェック 4　前トレイに正しく用紙がセットされていますか

本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）に従って、前トレイに用紙を正しくセットしてから、印刷し直してください。

チェック 5　後トレイから印刷を開始するときに、前トレイがフロント給紙位置にセットされていませんか

「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照して、前トレイを標準の印刷位置に戻し、後トレイに用紙がセットされていることを確認してから、本製品のリセットボタンを押してください。印刷を再開します。

チェック 6　後トレイから印刷中に、前トレイを引き上げた場合は、前トレイを標準の印刷位置に戻し、本製品のリセットボタンを押して、印刷し直してください

前トレイの戻しかたについては、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照してください。
印刷中は前トレイを動かさないでください。

チェック 7　前トレイからの印刷中に、前トレイを引き下げた場合は、前トレイをフロント給紙位置に戻し、本製品のリセットボタンを押して、印刷し直してください

前トレイの戻しかたについては、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照してください。
印刷中に前トレイを動かさないでください。

用紙の幅に関するエラーが表示されている

チェック **プリンタドライバの［用紙サイズ］の設定が、本製品にセットした用紙のサイズに合っているか確認してください**

本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、プリンタドライバの［ページ設定］シート（Windows）またはページ設定ダイアログ（Macintosh）で［用紙サイズ］の設定を確認し、設定と同じサイズの用紙をセットしてから、印刷し直してください。
設定と同じサイズの用紙をセットしていても、このメッセージが表示される場合は、プリンタドライバで用紙の幅を検知しない設定にしてください。
⇒「印刷が始まらない」の「チェック 9 プリンタドライバの［用紙サイズ］の設定が、本製品にセットした用紙のサイズに合っていますか」（P.98）

自動ヘッド位置調整に関するエラーメッセージが表示されている

チェック **「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「11回」（P.82）を参照し、対処してください**

Windows「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」

チェック 1 **電源ランプが消えている場合は、電源プラグがコンセントに接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください**

電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 **プリンタドライバのプロパティで、プリンタポートが正しく設定されていることを確認してください**

⇒「印刷が始まらない」の「チェック 12 プリンタポートを正しく設定してください」（P.99）

チェック 3 **本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください**

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

チェック 4 **プリンタドライバが正しくインストールされていることを確認してください**

『活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったプリンタドライバを削除する」に記載されている手順に従ってプリンタドライバを削除したあと、『かんたんスタートガイド』の操作に従って、再インストールしてください。

チェック 5　パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順に従って、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

1 ［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャ］の順に選ぶ

［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［パフォーマンスとメンテナンス］、［システム］を順にクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。
Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］の［システム］をダブルクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。

2 ［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］（Windows Vista以外をご使用の場合は［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］）、［USB印刷サポート］の順にダブルクリックする

［USB印刷サポート］が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。
⇒「チェック 3 本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください」（P.107）

3 ［全般］タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する

デバイスの異常が表示されている場合は、Windowsのヘルプを参照してトラブルを解決してください。

Macintosh 「エラー番号：92」が表示されている

チェック　プリンタドライバで後トレイから給紙できない用紙サイズを選んでいませんか

表示されるダイアログで［ジョブを削除］をクリックし、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］の［給紙方法］で［前トレイ］を選んでください。前トレイに用紙をセットしてから、印刷し直してください。

Macintosh 「エラー番号：93」が表示されている

チェック　プリンタドライバで前トレイからの印刷に対応していない用紙サイズを選んでいませんか

表示されるダイアログで［ジョブを削除］をクリックし、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］の［給紙方法］で［後トレイ］を選んでください。後トレイに用紙をセットしてから、印刷し直してください。

Macintosh 「エラー番号：300」が表示されている

チェック 1 電源ランプが消えている場合は、電源プラグがコンセントに接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが青色に点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

チェック 3 プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の製品名が選ばれていることを確認してください

⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.23）

Macintosh 「メッセージ：1001」が表示されている

チェック CD-R トレイを正しくセットしてください

本製品に付属のCD-R トレイ（Eのマークがあるもの）を使用してください。
CD-R トレイを正しくセットし、本製品のリセットボタンを押してください。
正しいセット方法については「DVD/CD をセットする」（P.33）を参照してください。

Macintosh 「エラー番号：1002」が表示されている

チェック 1 DVD/CD を CD-R トレイにセットしてください

本製品に付属のCD-R トレイ（Eのマークがあるもの）を使用してください。
CD-R トレイにDVD/CD をセットし、本製品のリセットボタンを押してください。
正しいセット方法については「DVD/CD をセットする」（P.33）を参照してください。

チェック 2 DVD/CD が正しく認識されているか確認してください

DVD/CD によっては正しく認識されないものがあります。また、すでに印刷したDVD/CD（プリンタブルディスク）をCD-R トレイにセットした場合、正しく認識されないことがあります。
「CD-R トレイがうまく送られない」の「チェック 3 すでに印刷してあるDVDまたはCDをセットしていませんか」（P.114）を参照し、対処してください。

Macintosh 「エラー番号：1281」が表示されている

チェック　後トレイから印刷を開始するときに、前トレイがフロント給紙位置にセットされていませんか

「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照して、前トレイを標準の印刷位置に戻し、後トレイに用紙がセットされていることを確認してから、本製品のリセットボタンを押してください。印刷を再開します。

Macintosh 「エラー番号：1283」が表示されている

チェック　後トレイから印刷中に、前トレイを引き上げた場合は、前トレイを標準の印刷位置に戻し、本製品のリセットボタンを押して、印刷し直してください

前トレイの戻しかたについては、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照してください。
印刷中に前トレイを動かさないでください。

Macintosh 「エラー番号：1284」が表示されている

チェック　前トレイからの印刷中に、前トレイを引き下げた場合は、前トレイをフロント給紙位置に戻し、本製品のリセットボタンを押して、印刷し直してください

前トレイの戻しかたについては、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照してください。
印刷中に前トレイを動かさないでください。

Macintosh 「エラー番号：1320」が表示されている

チェック　前トレイから印刷する準備が完了していますか

前トレイに用紙を正しくセットしてから、本製品のリセットボタンを押してください。
正しいセット方法については、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）を参照してください。

Macintosh 「エラー番号：1321」が表示されている

チェック　前トレイに正しく用紙がセットされていますか

本製品のリセットボタンを押してエラーを解除してください。次に、「前トレイに用紙をセットする」（P.46）に従って、前トレイに用紙を正しくセットしてから、印刷し直してください。

Macintosh 「メッセージ：1350」が表示されている

チェック　「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「12回」（P.82）を参照し、対処してください

Macintosh 「エラー番号：1701」が表示されている

チェック **「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「8回」（P.81）を参照し、対処してください**

Macintosh 「インク情報番号：1600」が表示されている

チェック **「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「4回」（P.80）を参照し、対処してください**

Macintosh 「インク情報番号：1698」が表示されている

チェック **「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「17回」（P.83）を参照し、対処してください**

Macintosh 「インク情報番号：1699」が表示されている

チェック **「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「18回」（P.83）を参照し、対処してください**

Macintosh 「メッセージ：1850」が表示されている

チェック **CD-R トレイガイドを開いて、CD-R トレイを正しくセットしてください**

CD-R トレイガイドを開いて、CD-R トレイを正しくセットし、本製品のリセットボタンを押してください。
正しいセット方法については「DVD/CD をセットする」（P.33）を参照してください。

Macintosh 「エラー番号：1851」が表示されている

チェック **CD-R トレイガイドを閉じてから、本製品のリセットボタンを押してください**

Macintosh 「エラー番号：1856」が表示されている

チェック **CD-R トレイガイドを閉じてから、本製品のリセットボタンを押してください**

印刷データが 1 枚分消去されますので、もう一度印刷の設定をしてください。

Macintosh 「エラー番号：2001」が表示されている

チェック **「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「9回」（P.81）を参照し、対処してください**

Macintosh 「エラー番号：2002」が表示されている

チェック **「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「19回」（P.84）を参照し、対処してください**

Macintosh 「エラー番号：2500」が表示されている

チェック **「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」の「11回」（P.82）を参照し、対処してください**

Windows そのほかのエラーメッセージ

チェック **プリンタ状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください**

- ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。
  不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。
- メモリ不足のため、正常にスプールできませんでした。
  起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリを増やしてください。
  それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。
- プリンタドライバが読み込めませんでした。
  『活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったプリンタドライバを削除する」に記載されている手順に従ってプリンタドライバを削除し、再インストールしてください。
- 「アプリケーションソフト名」－「文書名」を印刷できませんでした。
  現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

PictBridge対応機器にエラーメッセージが表示されている

PictBridge対応機器で印刷するときのトラブルについては、『活用ガイド』(電子マニュアル)を参照してください。

参　考

- キヤノン製以外のPictBridge対応機器からのプリンタエラーの解除方法がわからない場合は、本製品のエラーランプ(オレンジ色)の状態を確認してエラーを解除してください。本製品のエラーの解除方法は「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」(P.79)を参照してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、PictBridge対応機器に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。そのほか、PictBridge対応機器側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

DVD/CDにうまく印刷できない

DVD/CD印刷が始まらない

チェック 1　CD-R トレイを正しくセットしましたか

CD-R トレイガイドを開いて、CD-R トレイを正しくセットし直し、本製品のリセットボタンを押してください。
CD-R トレイは、本製品に付属のCD-R トレイ(Eのマークがあるもの)をご使用ください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする」(P.33)を参照してください。

チェック 2　CD-R トレイにDVDまたはCDをセットしましたか

CD-R トレイにDVDまたはCDを正しくセットし、本製品のリセットボタンを押してください。
CD-R トレイは、本製品に付属のCD-R トレイ(Eのマークがあるもの)を使用してください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする」(P.33)を参照してください。

CD-R トレイがうまく送られない

チェック 1　CD-R トレイを正しくセットしましたか

CD-R トレイを正しくセットし直し、本製品のリセットボタンを押してください。
CD-R トレイは、本製品に付属のCD-R トレイ(Eのマークがあるもの)をご使用ください。
正しいセット方法については、「DVD/CDをセットする」(P.33)を参照してください。

チェック 2　認識できないDVDまたはCDをセットしている可能性があります

推奨するDVDまたはCDのご使用をお勧めします。

参　考

- 推奨するDVD/CDの最新情報については、次のサイトをご覧ください。
  ⇒canon.jp/support
  推奨するDVD/CDの情報は不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。

チェック 3　すでに印刷してあるDVDまたはCDをセットしていませんか

すでに印刷してあるDVDまたはCDに印刷しようとすると、CD-Rトレイが排出されることがあります。
その場合は、次の手順に従ってプリンタドライバの設定を変更し、もう一度印刷してください。

Windows

［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定）、［送信］ボタンをクリックします。
印刷が終わったら、［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定）、［送信］ボタンをクリックしてください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）の［特殊設定］で［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外し（オフに設定）、［送信］ボタンをクリックします。
印刷が終わったら、［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークを付け（オンに設定）、［送信］ボタンをクリックしてください。

参　考

- 印刷後に［CD-R印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外したままほかのDVD/CDの印刷を行うと、CD-RトレイにDVD/CDがセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークを付けることで、CD-Rトレイが汚れるのを防ぐことができます。

CD-Rトレイがつまった

CD-Rトレイをゆっくり引き出してください。
CD-Rトレイが引き出せない場合は、本製品の電源を切り、電源を入れ直してください。CD-Rトレイが自動的に排出されます。
CD-Rトレイを取り除いたら、CD-Rトレイ（Eのマークがあるもの）をセットし直し、もう一度印刷してください。CD-Rトレイをセットし直す場合は、「DVD/CDをセットする」（P.33）を参照し、DVDまたはCDを正しくセットしてください。
上記の手順どおりに処理をしてもつまる場合は、DVDまたはCDに問題がないか確認してください。
⇒「CD-Rトレイがうまく送られない」（P.113）

付録

仕様

装置の概要	
印刷解像度（dpi）	4800（横）×2400（縦）
インターフェース	プリンタ接続部： High-Speed USB *1 カメラ接続部： PictBridge *1 Hi-Speed USBでのご使用は、パソコン側がHi-Speed USBに対応している必要があります。 また、Hi-Speed USBインターフェースはUSB 1.1の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースがUSB 1.1でも接続してご使用いただけます。
印字幅	後トレイ：最長322.2 mm（フチなし時 329 mm） 前トレイ：最長348.8 mm（フチなし時 356 mm）
稼動音	約37.0 dB（A）（キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドでの［きれい］印刷時））
動作環境	温度：5～35 ℃ 湿度：10～90 % RH（結露しないこと）
保存環境	温度：0～40 ℃ 湿度：5～95 % RH（結露しないこと）
電源	AC 100 V　50/60 Hz （付属の電源コードはAC 100V用です）
消費電力	印刷時：約14 W 待機時（スリープ時）：約1.2 W * 電源OFF時：約0.9 W * * USB接続時 ※電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約660 mm（横）×355 mm（奥行き）×193 mm（高さ） ※用紙サポートと前トレイとフロント給紙サポートを格納した状態
質量	本体　約15.2 kg ※プリントヘッド/インクタンクを取り付けた状態
プリントヘッド/インク	7680 ノズル（PM/PBK/MBK/PC/GY/M/Y/C/G/R　各768 ノズル）

動作条件		
参考 OSの動作条件が高い場合はそれに準じます。		
	Windows	Macintosh
OS **CPU** **メモリ**	Windows 7 1 GHz以上のプロセッサ （32-bit（x86）/ 64-bit（x64）） 1 GB（32-bit）/ 2 GB（64-bit） Windows Vista、Vista SP1、Vista SP2 1 GHz以上のプロセッサ 512 MB以上 Windows XP SP2、SP3 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB Windows 2000 Professional SP4 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB	Mac OS X v.10.6 Intel プロセッサ 1 GB Mac OS X v.10.5 Intel プロセッサ、PowerPC G5 PowerPC G4（867 MHz以上）以上 512 MB以上 Mac OS X v.10.4 Intel プロセッサ、PowerPC G5、 PowerPC G4、PowerPC G3 256 MB Mac OS X v.10.3.9 PowerPC G5、PowerPC G4、 PowerPC G3 128 MB
ブラウザ	Internet Explorer 6.0以上	Safari
ハードディスク空き容量	450 MB以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量	600 MB以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量
CD-ROM ドライブ	必要	
表示環境	SVGA 800 x 600 以上	XGA 1024 x 768以上

- Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000のいずれかがプレインストールされているコンピュータ
- Easy-PhotoPrint Pro：
  Easy-PhotoPrint Proは、Canon Digital Photo Professional Ver.2.1以降、Adobe Photoshop CS4、CS3、CS2、CS、およびAdobe Photoshop Elements 6、7、8用のプラグインソフトウェアです。
- Adobe Photoshop Elements 8：
  DVD ドライブが必要
  Windows：Windows XP SP2/SP3、Windows Vista、Windows 7のみサポート
    別途必要なハードディスク空き容量：2 GB以上
    CPU：1.6 GHz以上のプロセッサ
    メモリ：1 GB以上
    表示環境：16-bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード
    （96 dpiまたはそれ以下）
    1024 x 576以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
    Microsoft DirectX 9 互換のディスプレイドライバ
  Macintosh：Mac OS X v.10.4.11 - v.10.5.8、v.10.6 のみサポート
    別途必要なハードディスク空き容量：2 GB以上
    CPU：インテルマルチコアプロセッサ
    メモリ：512 MB以上のRAM（1 GB以上を推奨）、64 MB以上のVRAM
- Windows VistaからWindows 7にアップグレードして本製品をお使いになる場合は、キヤノン製インクジェットプリンタに付属のソフトウェアをアンインストールしてからWindows 7にアップグレードしてください。アップグレード後、ソフトウェアを再インストールしてください。
- Mac OS拡張（ジャーナリング）またはMac OS拡張でフォーマットされたハードディスクが必要です。
- Mac OS X v.10.5以下のバージョンから、Mac OS X v.10.6にアップグレードして本製品をお使いになる場合は、アップグレード後、ソフトウェアを再インストールしてください。

電子マニュアル（取扱説明書）の動作環境	
Windows	Macintosh
ブラウザ：Easy Guide Viewer ※Microsoft Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。 ご使用のOSやInternet Explorerのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Updateで最新の状態に更新することをお勧めします。	ブラウザ：ヘルプビューワ ※ご使用のOSやヘルプビューワのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、ソフトウェアアップデートで最新のバージョンに更新することをお勧めします。

環境および化学安全情報
製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。 canon.jp/ecology

原稿を印刷するときの注意事項

以下を原稿として複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]
- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

お問い合わせの前に

本書または『活用ガイド』（電子マニュアル）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は？

本製品が正常に動作し、プリンタドライバのインストールも問題なければ、接続ケーブルやパソコンシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーにご相談ください。

特定のアプリケーションソフトで起こる場合は？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、プリンタドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

プリンタドライバのバージョンアップの方法は、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

本製品の故障の場合は？

どのような対処をしても本製品が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本製品の故障と判断されます。
パーソナル機器修理受付センターに修理を依頼してください。

パーソナル機器修理受付センター

050-555-99088

【受付時間】<平日/土>9:00～18:00（日祝、年末年始を除く）

その他のお困り事は？

どこに問題があるか判断できない場合やその他のお困り事は、キヤノンお客様相談センターまでご相談ください。もしくは、キヤノンサポートホームページをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター

050-555-90011

【受付時間】 <平日>9:00～20:00
<土日祝>10:00～17:00（1/1～1/3を除く）

キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

デジタルカメラや携帯電話の操作については、各機器の説明書をご覧いただくか説明書に記載されている相談窓口へお問い合わせ下さい。

●弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

※本製品を修理にお出しいただく場合
- ・プリントヘッドとインクタンクは、取り付けた状態で本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- ・本製品が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

重要： 梱包時/輸送時には本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本製品がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い： 保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の際には、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合、またご使用可能なパソコンのOSが変更される場合もあります。

使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
　　キヤノンサポートホームページ　　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
　環境への取り組み　canon.jp/ecology

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。
また、おかけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

[プリンタの接続環境について]
プリンタと接続しているパソコンの機種（　　　　　　　　　　　　　　）
内蔵メモリ容量（　　　　　MB）／ハードディスク容量（　　　　　GB）
使用しているOS：Windows □Vista　□XP　□2000（Ver.　　　）
□Mac OS（Ver.　　　）　□その他（　　　　　）
パソコン上で選択しているプリンタドライバの名称（　　　　　　　　　　）
ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　　　　　）
接続方法：□直結　□ネットワーク（種類：　　　　　）□その他（　　　　　）
接続ケーブルメーカー（　　　　　　　）／品名（　　　　　　　）

[プリンタの設定について]
プリンタドライバのバージョン（　　　　　　　　　　　　　　）
パソコン上のプリンタ設定でバージョン情報が確認できます。

■カメラとダイレクト接続している場合
カメラメーカ名（　　　　　　　）モデル名（　　　　　　　）

[エラー表示]
エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　）
エラー表示の場所：□パソコン　　　　□プリンタ

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

ヒント集

お使いの製品についての豆知識、きれいに印刷するためのヒントを紹介しています。

インクはこんなふうに使われています

印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。それは、きれいな印刷を保つために行うクリーニングのとき。
本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。

重　要

- 吸い出されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、お早めにお近くの修理受付窓口へ交換をご依頼ください。満杯になる前に、エラーランプが８回点滅して交換をお知らせします。
⇒「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」（P.79）

モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタドライバの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

そんなインクたちを、少なくなったらランプでお知らせ

インクランプの点滅でインクが少なくなったことをお知らせします。
⇒「インクタンクを交換する」（P.56）

参　考

印刷後のご注意

- 本製品は、顔料インクを使用して印刷します。顔料インクの特性上、印刷した面をこすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合がありますので、ご注意ください。

特別な用紙に印刷……失敗しないためのポイントは!?

印刷前に本製品の状態を確認する

●プリントヘッドの状態は大丈夫？

印刷がかすれてはせっかくの用紙が無駄に……。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認しておきましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.62）

●本製品の内部がインクで汚れていませんか？

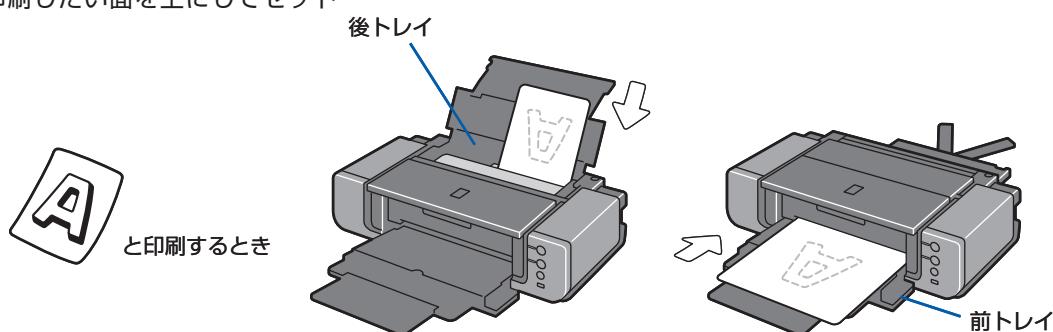
大量に印刷したあとやフチなし印刷をしたあとは、用紙の通過した部分がインクで汚れていることがあります。インクふき取りクリーニングで内部のそうじをしましょう。

⇒『活用ガイド』（電子マニュアル）

用紙のセット方法を確認する

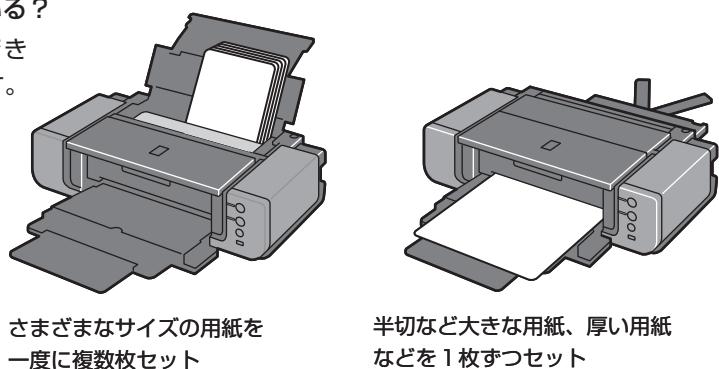
●用紙の向きは大丈夫？

用紙は印刷したい面を上にしてセットします。

と印刷するとき

●用紙に合った給紙箇所を選んでいる？

後トレイと前トレイでは、セットできる用紙のサイズや厚みなどが違います。

さまざまなサイズの用紙を一度に複数枚セット

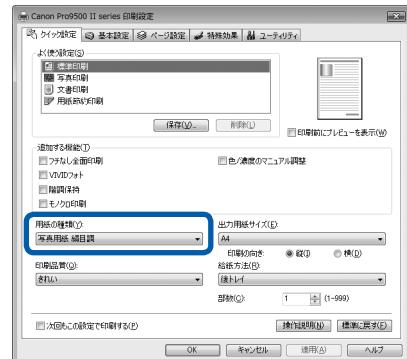
半切など大きな用紙、厚い用紙などを１枚ずつセット

●その用紙、反っていませんか？

反った用紙は紙づまりの原因に。用紙は平らにしてからセットしてください。

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」（P.92）

用紙をセットしたあとは、用紙の設定を忘れずに！

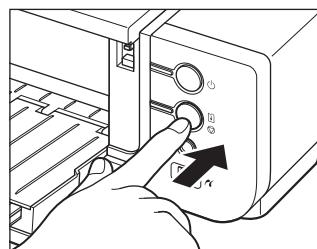
STEP 1　**用紙をセットしたら**

STEP 2　**用紙の種類を選ぶ**

プリンタドライバの画面

用紙のセットが済んだら、プリンタドライバの［用紙の種類］で、必ずセットした用紙を選んでください。用紙の種類を設定しないと、せっかく正しく用紙をセットしても満足な印刷結果が得られないことがあります。⇒P.88

用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、［用紙の種類］にはあらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）がされています。そのため、セットした用紙を［用紙の種類］で選ぶことでそれぞれの用紙に適した印刷ができるのです。

印刷中止は、リセットボタンで

電源ボタンは押さないで！

印刷中に電源ボタンを押してしまうと、パソコンから送られた印刷データなどが本製品にたまって印刷できなくなることがあります。
印刷を中止したいときは、リセットボタンを押してください。

参　考

- 印刷中に、リセットボタンを押しても印刷が中止されないときは、プリンタドライバの設定画面を開き、プリンタ状態の確認画面から不要となった印刷ジョブを削除してください。（Windows）

最新版のプリンタドライバを手に入れよう

キヤノンのホームページでは、最新版のプリンタドライバを提供しています。
最新版のプリンタドライバは、古いバージョンに改良を加えたり新機能に対応しているため、ドライバを新しくする（アップデートする）ことによって、新しいOSに対応したり、印刷のトラブルを解決できることがあります。

STEP 1

まずは、キヤノンのホームページ（canon.jp/download）にアクセスして、最新版のプリンタドライバをダウンロード

STEP 2

本製品の電源を切り、本製品とパソコンを接続しているUSBケーブルを抜く

STEP 3

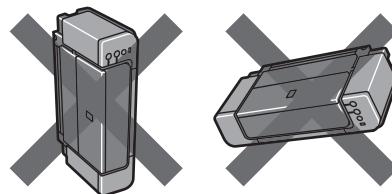
古いプリンタドライバを削除する（Windowsの場合）
［スタート］→［(すべての）プログラム］→［Canon（ご使用の製品名）series］→［プリンタドライバ アンインストーラ］の順にクリックします。以降は画面の指示にしたがってください。

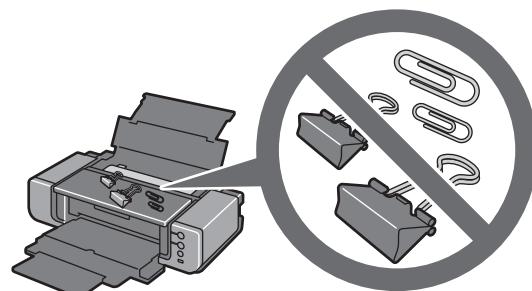
STEP 4

ダウンロードした最新のプリンタドライバをインストールする

詳しい手順はキヤノンのホームページをご覧ください。

使用時や移動時に注意することは？

製品を立てたり傾けたりしないで！

製品を立てたり傾けたりすると、製品がダメージを受けたり、まれに本体からインクが漏れるおそれがあります。
使用時や移動時には本製品を傾けないようご注意ください。

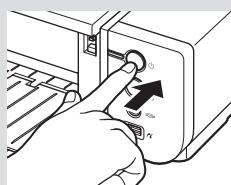
トップカバーの上に物を置かないで！

トップカバー上には物を置かないでください。トップカバーを開けたときに後トレイに物が落ち、故障の原因になります。また、上から物が落ちる場所などには、本製品を置かないでください。

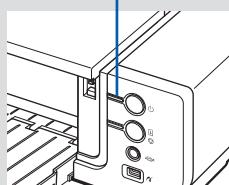
いつもきれいな印刷を楽しむためには？

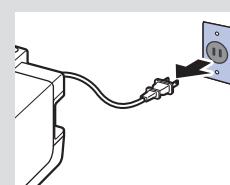
きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

●電源プラグを抜くときは次の順番で

STEP 1

本製品の電源ボタンを押して、電源を切る

STEP 2

電源ランプが消えたことを確認

STEP 3

電源プラグをコンセントから抜く、または、テーブルタップのスイッチを切る

電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、電源ランプが消える前にコンセントから電源プラグを抜いたり、テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。
電源プラグを抜くときは、必ずこの順番を守ってください。

●定期的に印刷しましょう

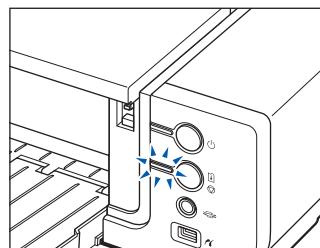
サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に1回程度は印刷することをお勧めします。

●インクは定期的にかき混ぜられています

本製品では、きれいな印刷を得るために、定期的に自動でインクをかき混ぜる設定になっています。そのため、印刷を定期的に行っていれば、インクをいつでもよい状態に保つことができます。
長期間お使いになっていないときなどは、電源を入れると自動的にインクがかき混ぜられます。
ただし、自動でインクをかき混ぜる設定をオフにした場合や、印刷結果を見て、インクの濃度にむらがある場合は、手動でインクをかき混ぜてください。
⇒「インクの品質を保持する」（P.73）

参　考

- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着すると、インクがにじむことがあります。

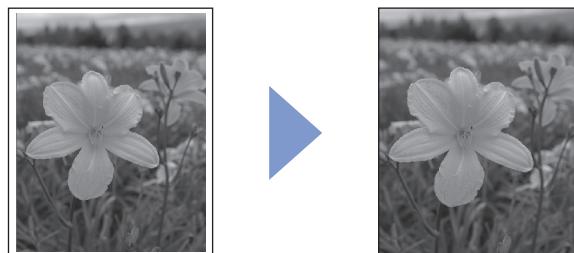
プリンタのランプが点滅したときは…

●エラーランプ（オレンジ色）が点滅しているときは

エラーが発生しています。「プリンタのエラーランプがオレンジ色に点滅している」（P.79）を参照してトラブルを解決してください。

●電源ランプ（青色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅しているときは

修理の必要なエラーが発生しています。パーソナル機器修理受付センターまたはお近くの修理受付窓口へご連絡ください。⇒P.120

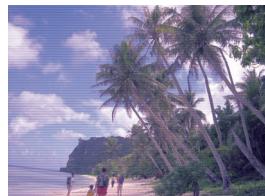
写真をフチなし印刷する簡単な方法は？

付属のアプリケーションソフトEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと、デジタルカメラで撮った写真を簡単な操作でフチなし印刷できます。
⇒「写真を印刷する（Easy-PhotoPrint EXを使う）」（P.14）

色がおかしい、かすれるときは

ノズルチェックパターンでノズルのつまりを確認しよう

プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目づまりすると、色味がおかしかったり、印刷がかすれることがあります。

この写真が

こんなことに

そんなときには
ノズルチェックパターンを印刷

印刷したチェックパターンを確認すると、ノズルが目づまりしているかどうかがわかります。

ノズルに目づまりはありません。

こんなふうになっていたら、ノズルが目づまりしているサイン。今すぐお手入れして、写真を元どおりのきれいな色で印刷しましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.62）

写真の色合いを調整するときは

Easy-PhotoPrint Proを使用したり、プリンタドライバを使用すると色の微調整をすることができます。

●カラーバランスで、シアン/マゼンタ/イエローなど、色ごとに、強弱が設定できます。

補正なし

カラーバランスで補正

●モノクロ印刷で、冷黒調や温黒調などモノクロの温かみを設定できます。

冷黒調

白黒（標準）

温黒調

●アプリケーションで指定したICCプロファイルに従って印刷できます。

sRGB

Adobe RGB

⇒ 詳しくは、『活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

●キヤノン PIXUS ホームページ　canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●キヤノンお客様相談センター　050-555-90011

PIXUS・インクジェットプリンタに関するご質問・ご相談は、上記の窓口にお願いいたします。
年賀状印刷に関するお問い合わせは、下記専用窓口にお願いいたします。

年賀状印刷専用窓口　050-555-90018（受付期間：11/1～1/15）

【受付時間】〈平日〉9:00 ～ 20:00、〈土日祝日〉10:00 ～ 17:00

（1/1～1/3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9330 をご利用ください。
※ＩＰ電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。

インクタンクについてのご注意

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例 * も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
（* すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。）
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

※インクタンクの交換については、本書の「インクタンクを交換する」を参照してください。

紙幣、有価証券などを本製品で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

QT5-2170-V01　XXXXXXXX　　PRINTED IN JAPAN